

商 工 労 政 課

○ 商工関係

1 商店街振興対策

交通環境の変化や大型店の郊外への出店などを要因として、中心市街地商店街等の集客力・求心力が弱体化している。地域のコミュニティの担い手としての役割が期待されている中心市街地商店街等の活性化を図るために、商店街空店舗対策事業、商店街活性化対策事業、商店街PR支援事業、商店街LED化支援事業を実施した。

(1) 商店街空店舗対策事業

地域のコミュニティの場として中心的役割が期待されている中心市街地商店街の集客力及び機能回復の促進を目的として、空店舗の解消を図るため、伊勢まちづくり株式会社が実施する「空店舗活用モデル事業」「テナント確保支援事業」「チャレンジショップ事業」に補助金として4,627千円を交付した。これらの事業は、新規創業者の店舗開設及び経営の一助となっており、商店街における賑わいの創出にも繋がっている。

ア 伊勢まちづくり株式会社が実施した補助事業の実績

(ア) 空店舗活用モデル事業

	交付先	事業内容 (店舗名称)	補助金額
新規	伊勢河崎本通り活性化会議	コワーキングスペースとしての賑わい創出 (和)	円 1,956,943
	伊勢銀座新道商店街	若い担い手育成拠点整備 (フードラボ)	1,100,000
計 (2件)			3,056,943

(イ) テナント確保支援事業

	交付先	店名	業種	補助金額
新規	伊勢市駅前商店街	満船屋	飲食業	円 450,000
	伊勢銀座新道商店街	fufura	飲食業	120,000
計 (2件)				570,000

(ウ) チャレンジショップ事業

	交付先	店名	業種	補助金額
新規	伊勢高柳商店街	サマディ	整体院	円 580,000

(2) 商店街活性化対策事業

中心市街地の活性化を図るため、消費者に魅力ある商店街づくりを行う商店街等に対する補助事業を実施する伊勢商工会議所に、補助金として700千円交付した。

ア 伊勢商工会議所が実施した「商業まちづくり補助金事業」の実績

交付団体名	事業名	補助金額
伊勢銀座新道商店街	「伊勢の夜祭」魅力アップ事業	円 350,000
伊勢高柳商店街	高柳商店街と病院との連携による「病院デー」事業	350,000
計 (2件)		700,000

(3) 商店街PR支援事業

商店街の空店舗の解消や活性化を図るため、伊勢まちづくり株式会社が行う商店街等の広報に対して補助金を交付した。

交付団体	事業名	補助金額
伊勢まちづくり株式会社	商店街空店舗・イベント広報事業	円 986,000

(4) 商店街LED化支援事業

商店街の街路灯等のLED化を促進し、環境に配慮した商店街づくりや商店街の活性化を図るために、商店街が行う街路灯等のLED化に係る費用の一部に対して補助金を交付した。

交付団体	補助金額
浦口商店会	円 283,000
二俣辻久留商店会	328,000
計 (2件)	611,000

2 商業活性化推進事業

伊勢市内の商業振興を図るため、地域住民や観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たに取り組む商業団体等に対して事業費の一部を補助する商業魅力アップ支援事業補助金を交付した。

交付団体	事業名	補助金額
伊勢河崎本通り活性化会議	山田羽書を活用した地域商業活性化事業	円 1,000,000
伊勢市駅前商店街振興組合	伊勢市駅前商店街まちづくり勉強会事業	207,000
伊勢市商店街連合会	『伊勢やまだ大学』による山田のまちと商店街の振興事業	772,000
伊勢商工会議所	お伊勢さん観光案内人ホームページ等作成事業	997,000
伊勢フードサービス組合	伊勢まち“ちょいぐる”事業	574,000
計 (5件)		3,550,000

3 地域産品販売促進事業

(1) 物産展等

伊勢の食材や特産品など地域資源の販路拡大や全国における認知度の向上、伊勢の魅力を全国へ発信することを目的に、伊勢市産業振興会や伊勢市観光協会等の関係団体と連携し、首都圏や大都市圏において、物産展や食材のPRを行った。

○首都圏及び大都市圏での物産展等の状況

開催日	内 容	場 所
27. 4. 4～27. 4. 5	「神宮式年遷宮記録映画上映会」と「伊勢の観光物産展」の開催	六本木ヒルズ・ローズガーデン（東京都・港区）
27. 6. 11	福岡ヤフオク！ドームでの伊勢市観光物産PR	福岡ヤフオク！ドーム（福岡県・福岡市）
27. 10. 3	「神話と三麺の交流イベント」における伊勢うどんのふるまい	大神神社（奈良県・桜井市）
27. 10. 17～27. 10. 18	特産品PRイベント「ええなあ 伊勢のもん」開催	三重テラス（東京都・中央区）
27. 10. 29～27. 11. 4	特産品・観光PRイベント「お伊勢さんうまいもんフェア」開催	東急百貨店日吉東急アベニュー（神奈川県・横浜市）
27. 12. 12～27. 12. 13	「伊勢・鳥羽・志摩うまいもん列車」にて特産品を販売	大阪上本町駅構内（大阪府・大阪市）
28. 3. 6	「三重もんづくし！うまいもんおもしろいもん祭！」にて伊勢のお菓子のPR	大阪ガス hu+gMUSEUM（大阪府・大阪市）
28. 3. 12～28. 3. 13	観光物産イベント「お伊勢さんええもんフェア」開催	グランベリーモール（東京都・町田市）

○その他物産展等の状況

開催日	内 容	場 所
27. 11. 22	伊勢市制施行 10 周年記念事業「伊勢市産業フェア」	伊勢志摩総合地方卸売市場
28. 12. 5～28. 12. 6	「2015 中日三重お伊勢さんマラソン」伊勢志摩物産展	三重県営サンアリーナ周辺
28. 2. 21	「第 9 回美し国三重市町対抗駅伝」物産展	三重交通 G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）

(2) 伊勢市商談会等出展支援事業補助金

伊勢市内の中小企業者及び中小企業団体等の販路拡大及び新規需要開拓を促進するため、国内外における商談会や見本市等に出展する中小企業者に対して補助金を交付した。

交 付 対 象 者	出展した商談会等の名称	補助金額
パセプション	中部イオン会支部合同見本市	円 10,000
小橋電機 株式会社	第 10 回アグリフード EXPO 東京 2015	97,000
三重電子 株式会社	メッセナゴヤ 2015	8,000
株式会社 貫じん堂	みえリーディング産業展 2015	15,000
株式会社 コムデック	みえリーディング産業展 2015	50,000
株式会社 アーリー・バード	みえリーディング産業展 2015	37,000
キクカワエンタープライズ株式会社	HKPCA & IPC SHOW（中国）	100,000
北村物産 株式会社	日本アクセス乾物・乾麺・アクセスオリジナル商品展示商談会	97,000
計 (8 件)		414,000

(3) 伊勢市産業フェア開催

伊勢市産業振興イベント実行委員会へ開催負担金を支出するとともに事務局として準備等に関わり、以下のとおり実施した。

ア 目 的

市制施行 10 周年記念事業として、伊勢地域の企業が持つ優れた技術や商品、物産等の地域資源の情報を発信する場をつくとともに、多くの方々に伊勢の産業を楽しみながら知っていただくことで、地域経済、地域産業の活性化につなげていく。

イ 開催日時	平成 27 年 11 月 22 日（日） 午前 10 時から午後 3 時
ウ 開催場所	伊勢志摩総合地方卸売市場内（西豊浜町 141 番地 1）
エ 出展件数	40 件（内訳：事業所 27 件、学校関係 4 件、行政関連 8 件、その他団体 1 件）
オ 入場者数	約 6,000 人
カ 負担金額	2,993,724 円

4 中小企業振興対策事業

伊勢中小企業相談所（伊勢商工会議所内）及び小俣町商工会が実施する中小企業の経営改善及び経営強化を支援するための経営指導事業等に要する経費に対して補助金を交付し、中小企業の振興に寄与した。

また、中小企業等への相談対応や、経営指導の充実を図るため、伊勢中小企業相談所及び小俣町商工会が行う専門家派遣に係る経費に対して補助金を交付し、中小企業等が抱えている課題解消を支援した。

（1）経営改善普及事業補助金

助成団体	事業内容	補助金額
伊勢中小企業相談所	中小企業等に対する ・講習会、セミナーの開催 ・融資相談、経営指導、金融機関の斡旋 など	円 10,000,000
小俣町商工会	中小企業等に対する ・経営指導、講習会の開催 ・決算、年末調整、消費税申告指導 など	7,627,000
計 (2 件)		17,627,000

（2）専門家派遣事業補助金

助成団体	事業内容	補助金額
伊勢中小企業相談所	中小企業等への相談対応や経営指導の充実を図るため、中小企業等が抱えている課題に対し専門的・実践的に指導、助言を行う専門家を派遣する。	円 672,000
小俣町商工会		373,000
計 (2 件)		1,045,000

5 融資対策事業

小規模事業者の資金運営の円滑化を図るため、三重県の融資制度である小規模事業資金等の貸付を受けた事業者に対して、保証料の補給補助を行った。

（1）小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成 19 年以降に小俣町商工会の斡旋により、三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金または、小規模借換資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補給補助を行い、小規模事業者の経営合理化を促進した。

件数	保証料補給補助金額	取扱金融機関名
190件	5,602,586円	百五銀行、第三銀行、三重信用金庫、中京銀行ほか

(2) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、同法第2条第5項により、取引先の倒産や事業活動の制限、災害等などにより経営の安定に支障を生じている中小企業者は、市町村等の認定を受ければ保証限度額の別枠化による新たな融資が受けられることから、申請のあった中小企業者に対し審査を実施し該当する中小企業者を「特定中小企業者」として認定して資金調達の円滑化を図った。

認定要件	認定件数
第5号：業況の悪化している業種（全国的）	59件

(3) 中小企業経営力強化資金利子補給補助金（平成27年度新規事業）

新規創業及び異分野の中小企業と連携した新事業分野の開拓や第二創業などを行う中小企業・小規模企業が、日本政策金融公庫（国民生活事業）の中小企業経営力強化資金の融資を受けた場合にその融資にかかる利息の一部の補給補助を行い、中小企業・小規模企業の事業発展を促し、地域経済の活性化を図った。

件数	利子補給補助金額
6件	245,844円

6 住宅・店舗リフォーム等促進事業補助金

市内住宅関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図るため、市民や事業者のリフォーム又は増改築、店舗の新築に対する意欲を促すべく、住宅又は店舗のリフォーム等を行う者に対し、補助金を交付した。

区分	補助件数	補助金額
店舗	7件	807,000円
住宅・店舗併用	7	1,280,000
住宅	106	9,558,000
計	120	11,645,000

7 全国菓子大博覧会・三重開催支援事業

平成29年に「第27回全国菓子大博覧会・三重」が伊勢市を会場として開催されることから、菓子産業等の振興発展や他産業への波及効果に加え、地域経済の活性化や交流人口の拡大などが期待できるため、全国菓子大博覧会・三重実行委員会に対し負担金を支出した。また、商工労政課から1名が全国菓子大博覧会実行委員会事務局に駐在し、博覧会に向けた準備や広報などの事務局の運営事務を行った。

・開催支援負担金 15,000,000円

8 伊勢市プレミアム付き地域商品券発行支援事業

国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に呼応し、プレミアム付商品券を発行する事業に補助金を交付することで、地元中小企業者等の販売意欲ならびに消費者の購買意欲を高め、官民連携による地域経済の活性化を図った。

(1) 事業実施主体 伊勢商工会議所

(2) 協力事業者 小俣町商工会

(3) 事業概要

「お伊勢さんプレミアム付商品券」を額面 1,000 円の共通券 8 枚と 500 円の中小規模店専用券 8 枚を 1 冊として 1 万円で販売し、市内の取扱店舗で利用可能とした。

(4) 発行総額 720,000,000 円 (発行冊数 60,000 冊)

初回募集分 600,000,000 円 (発行冊数 50,000 冊)

追加募集分 120,000,000 円 (発行冊数 10,000 冊)

(5) プレミアム率 20%

(6) 購入限度額 初回分 市民一人につき 5 冊 (5 万円) まで

追加分 市民一人につき 2 冊 (2 万円) まで

(7) 利用期間 平成 27 年 8 月 1 日 (土) から 12 月 31 日 (木)

(8) 総利用額 718,544,500 円 (発行額の 99.8%)

(9) 補助金額 150,025,000 円

9 ものづくり推進事業

(1) 新産業創出支援事業補助金

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者の団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、補助金を交付して企業力の強化を図った。

なお、補助金交付事業者及び交付額の決定等にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査委員会で、事業内容及び実績等への意見をもとに審査を行った。

事業者名	交付額	事業内容
ニュージャパンマリン株式会社	2,000,000 円	FRP 製小型水面清掃船の開発

(2) 伝統工芸品等再生支援事業補助金

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付した。

事業者名	交付額	事業内容
(一財)伊勢伝統工芸保存協会	230,000 円	パンフレット改訂事業

(3) 創業・再挑戦アシスト資金保証料補給補助金

創業・起業者の資金運営円滑化を図るため、三重県の融資制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を受けた事業者に対して、保証料の補給補助を行った。

件数	保証料補給補助金額
44 件	543,623 円

(4) ㈱三重 T L O への加入及び関係機関との連携

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進するなど、産学官連携の拠点と位置づけられている(株)三重 T L O

の特別会員として継続加入し、地元企業の学術機関への技術相談や、大学等が持っている技術の収集などが容易にできる環境を整えた。

また、国・県・大学や高等専門学校をはじめとする支援機関・研究機関などと連携し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、支援体制の強化を図った。

(5) 創業支援事業計画事業補助金

地域経済の活性化と雇用の場の創出に資するため、伊勢市創業支援事業計画に基づき、創業支援事業者が実施する事業の経費を一部補助し、創業環境を整え創業支援体制の強化を図った。

対象者：伊勢市創業支援事業計画に位置付けられた創業支援事業者

交付団体	事業内容	補助金額
伊勢商工会議所	特定創業支援事業に基づく、「創業スクール」「第二創業スクール」等の実施	円 942,000

10 産業支援センター管理運営事業

(1) 伊勢市産業支援センター

平成24年度から、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため指定管理制度を導入した。指定管理者は、施設の管理運営と企業訪問による課題の聴き取り及び解決、起業家育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。

- ・指定管理者 伊勢商工会議所
- ・指定管理期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
- ・指定管理料 総額225,894,063円（平成27年度分46,028,571円）

ア 起業支援

(ア) 創業支援員の配置

新しい事業の実現のため、起業家とともに課題を分析し、解決のための手法の提案や、経営・財務など専門家との連携など、起業家の事業活動を総合的にサポートする創業支援員を常勤で配置した。

- ・創業支援員 インキュベーションマネージャー 渡邊 憲一
- ・相談件数 886件（外部：195人）
305件（起業家支援室及び起業準備支援室入居者：7人）
計1,191件（202人）
- ・起業勉強会 開催回数 10回、累計参加者 132人

(イ) 起業家支援室の使用実績

事業者名または個人名	利用期間	事業内容
中山 拓（日本モッキ）	平成27年2月から	国産材を活用した商品・サービスの企画及び販売
イーエムテクノロジー(株)	平成28年2月から	設計開発のトータルソリューション事業
中西 学（UK PHOTO）	平成28年2月から	視覚的特徴を生かしたプロモーション提案

(ウ) 起業準備支援室の使用実績

使用者名	使用期間	事業内容
篠原 昌子 (伊勢乃物)	平成 27 年 1 月～ 平成 27 年 12 月	地場産業・伝統工芸を利用した「新しいお土産物」の製作・販売
山中 誠	平成 27 年 2 月～ 平成 28 年 1 月	基盤設計・電磁環境調査サービス
木下一弥 (Ise Beacon)	平成 27 年 7 月から	情報サービスシステム iBeacon の開発、運用
中西 学 (UK PHOTO)	平成 27 年 8 月～ 平成 28 年 1 月	視覚的特徴を生かしたプロモーション提案

イ 技術力向上支援 (企業力の強化)

(ア) 企業支援員及び職員による企業訪問及び支援

市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、製造業者個々の課題を把握しその解決に向け、関連支援機関等への橋渡しや各種支援策の紹介を行い、企業の円滑な事業活動を支援する「企業支援員」3名を配置した。また、職員も企業訪問を行い、市内企業の状況把握、他団体等の企業支援メニューの紹介等を行った。

- ・企業訪問件数：1,250件 (428社)
- ・課題件数：114件 (前年度継続 1件、新規 113件)
- ・課題解決件数：110件
- ・繰越：2件
- ・解決不能：2件

(イ) 専門家派遣支援事業

企業からの課題・問題に関する相談に対して、商工会議所・商工会が行う専門家派遣制度や中部経済産業局が行う専門家派遣事業 (ミラサポ)、三重県産業支援センターの専門家派遣制度への取次を行った。

- ・取次ぎ件数 7事業所 (14回)
- ・専門家登録取次ぎ 1事業

ウ 販売力向上、販路拡大支援 (企業力の強化)

(ア) センターWebによる企業情報紹介 (伊勢市ものづくり企業データベース)

新たな外注・発注先や、協力工場探し・工場検索、企業連携先の探索などの利用のため伊勢市内に立地する製造業関連の事業所・企業情報を掲載した。

- ・今年度企業掲載件数 6件
- ・累計企業掲載件数 34件

(イ) センターホームページ情報発信力強化

伊勢市が行っている製造業関連の事業所を対象とした補助金の情報や、各種研修など企業支援情報のほか、国・県などの支援事業を掲載した。

- ・28,016セッション

(ウ) 大都市圏等展示会への視察・出展支援

○展示会出展

伊勢市産業支援センターとして、「しんきんビジネスフェア 2015」の展示会にブースを出展し、市内企業とともに商品PRに努めた。

- ・開催日 平成 27 年 5 月 27 日 (水)
- ・開催場所 ポートメッセなごや (名古屋市国際会議場) 第 3 展示館
- ・参加企業 8 社 13 名 (藤本電器(株)、(株)貫じん堂、(株)空空工房、三健食品(株)、(株)糰屋、(株)三国屋、(有)林商店、花井真珠核)

○展示会見学会

市内企業の今後の事業展開のため、展示会出展を計画されている事業所、及び新たな企業との出会いを求めている事業所などとともに、ポートメッセなごや (名古屋市国際会議場) で開催される「しんきんビジネスフェア 2015」の視察を伊勢商工会議所 製造三部会等と協働して行った。また、「みえリーディング産業展 2015」と「次世代ものづくり基盤技術産業展 (TECH Biz EXPO 2015)」の視察を併せて行った。

- ・しんきんビジネスフェア 2015
 - 開催日 平成 27 年 5 月 27 日 (水)
 - 開催場所 ポートメッセなごや (名古屋市国際会議場)
 - 参加者 17 名
- ・みえリーディング産業展 2015/次世代ものづくり基盤技術産業展 (TECH Biz EXPO 2015)
 - 開催日 平成 27 年 11 月 20 日 (金)
 - 開催場所 四日市ドーム/名古屋市吹上ホール
 - 参加者 14 名

(エ) 人材育成支援 (企業力の強化)

○ものづくり人材育成セミナー等の開催

開催日	講座名・タイトル等	講師	受講者数
27. 4. 14	三重県の助成金等制度説明会(注1)	(公財) 三重県産業支援センター 販路開拓・地域資源課 北川 裕基 氏	24 人
27. 4. 24	三重県の助成金等制度個別相談会(注1)	(公財) 三重県産業支援センター 販路開拓・地域資源課 真田 幸浩 氏、 北川 裕基 氏	8 人
27. 6. 18	マイナンバー制度対応 実務セミナー(注4)	伊勢志摩法律事務所 弁護士 野田新一朗 氏 (株)コムデック 樋口雅寿 氏 増田肇税理士事務所 税理士 増田 肇 氏 (東海税理士会伊勢支部) 社労士オフィス ウエルキャリア 社会保険労務士 前橋克彦 氏	140 人

27. 7. 1	ハラルビジネスセミナー(注2) ※伊勢商工会議所と共催	非営利一般社団法人 ハラル・ジャパン協会 代表理事 佐久間 朋宏 氏	38 人
27. 7. 2	事業継続計画 (BCP) 導入セミナー(注1)	(一財) 三重県環境保全事業団 審査部 永木 良明 氏	17 人
27. 8. 18	事業承継セミナー (次世代へのバトタッチ) セミナー及び個別相談会(注1)	山田ビジネスコンサルティング(株) 土屋 透 氏、中村 晃久 氏 三重県事業引継ぎ支援センター 東山 一雄 氏、木村那津子 氏	延べ24人
27. 9. 15	三重県の助成金等制度説明会(注1)	(公財) 三重県産業支援センター 販路開拓・地域資源課 北川 裕基 氏	14 人
27. 10. 1	三重県の助成金等制度個別相談会	(公財) 三重県産業支援センター 販路開拓・地域資源課 真田 幸浩 氏、北川 裕基 氏	7 人
27. 10. 6	ものづくりエッセンスセミナー「管理者の行動スタイル (現場管理の基本)」(注1)	シンフォニアテクノロジー(株)能力開発センター チーフインストラクター 村山 昌彦 氏	9 人
27. 10. 13	ものづくりエッセンスセミナー「企業の体質改善の考え方 (品質管理)」(注1)	シンフォニアテクノロジー(株)能力開発センター チーフインストラクター 村山 昌彦 氏	8 人
27. 10. 16	人材の育成・活用セミナー「小さな会社でもNo1 になる！ 選ばれる理由の作り方」(注1)※伊勢志摩地域産業活性化協議会と共催	遠藤晃顧客教育研究所(株) 遠藤 晃 氏	16 人
27. 10. 19	展示会・商談会を活用した新規顧客発掘個別相談会(注1)	株式会社 船井総合研究所 チーフコンサルタント 楠元 武久 氏	6 人
27. 10. 27 27. 10. 28	貿易実務講座 (入門・基礎編)(注2)	中矢一虎法務事務所 中矢 一虎 氏	14 人
27. 11. 16 27. 11. 17	貿易実務講座 (中級編)(注2)	中矢一虎法務事務所 中矢 一虎 氏	3 人
27. 11. 16	ものづくりエッセンスセミナー「モノづくりの変化 (生産管理)」(注1)	シンフォニアテクノロジー(株)能力開発センター チーフインストラクター 村山 昌彦 氏	8 人
27. 11. 24	ものづくりエッセンスセミナー「職場の問題発見と解決」(注1)	シンフォニアテクノロジー(株)能力開発センター チーフインストラクター 村山 昌彦 氏	7 人
28. 1. 21	新春経済講演会(注1)	ノースアジア大学教授 野口 秀行 氏	49 人
27. 7. 13 ～ 28. 2. 8 全 12 回	製造管理者育成基礎講座 (注1)2 日間、(注3)10 日間 (三重県の受託事業)	シンフォニアテクノロジー(株)能力開発センター チーフインストラクター 村山 昌彦 氏	17 社 20 人

28. 3. 4	補助金有効活用セミナー及び個別説明会(注1)	独立行政法人 中小企業基盤整備機構中部本部 松井 督卓 氏 三重県よろず支援拠点 コーディネーター野々垣 齊 氏	延べ31人
----------	------------------------	--	-------

開催場所・・・(注1)伊勢市産業支援センター

(注2)伊勢商工会議所

(注3)シンフォニアテクノロジー(株)五十鈴寮

(注4)三重県営サンアリーナ国際会議場

(オ) 連携の促進

○先進地域等広域ネットワーク構築事業

事業を展開していく上で、先進企業、大学、研究機関をはじめ様々な外部機関（人材）との交流による気づきや連携が重要であるため、研修会、懇談会、セミナー等に参加し連携を深めた。

・参加状況：7件（県外：2件、県内：5件）

○農商工連携促進支援事業

（財）三重県産業支援センターが主催する「みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金」及び「みえ農商工連携応援ファンド助成金」の説明会を開催した。

内 容	参加者数
説明会（前期）	23社／24名
ブラッシュアップ相談会（前期）	8社／8名
説明会（後期）	14社／14名
ブラッシュアップ相談会（後期）	7社／7名

(カ) 地域伝統技術の活用

○地域伝統技術講習会・講座等の開催

・伊勢春慶塗教室

伝統工芸品である伊勢春慶の普及啓発の一環として、これまで漆塗りを体験したことのない人を対象に、木製の弁当箱へ伊勢春慶塗を施す一連の流れを体験してもらった。

開催日 平成27年6月18日（木）～8月20日（木）毎週木曜日 全9回

開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室

講師 元・伊勢市工芸指導所長 西井 幸平 氏

受講者数 6人（延べ45人）

・漆芸講座

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、木地呂・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法習得に取り組んだ（昭和61年5月から開催）。また、漆芸を学んだ人で、情熱をもって漆芸を続けたい人に制作場所を提供し学んでもらう場として「漆芸自主講座」を、これまで漆芸技術の基礎を身に付け、目的をもって漆芸を学びたい

人を対象に、テーマを与え総合的に漆芸を学ぶ総合漆芸講座を開催した。

開催日 各コース 週 1 回
回数 161 回
場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室
講師 元・神宮司廳造営局神宝装束部長 神原 佑司 氏
元・伊勢市工芸指導所長 西井 幸平 氏
受講者数 27 人 (延べ 1,009 人)

・木工講座

市内の木工産業の振興を目的に、優れた木工技術を持つ技術者の育成を図るために行い、木工の技術・技法の習得、木工道具の仕込みの習得のための指導を行った。講座開催日以外にも自主活動日を設定し、受講生の技術の向上を図った。

開催日 月 2 回 (第 2・4 土曜日)
講座回数 全 22 回
開催場所 伊勢市産業支援センター 作業実習室
講師 家具職人 井坂 益水 氏
受講者数 12 人 (延べ 232 人)
自主活動 22 回、12 人 (延べ 120 人)

・伝統工芸品 PR 事業

若手家具職人や市内の伝統工芸に従事している若手職人を集めて勉強会を開催し、共同での商品作製の情報発信や PR を検討した。

また、春と秋に開催される伊勢楽市出展に向けて展示品の検討を行った。

勉強会の開催 11 回
楽市出展 2 回
開催場所 勉強会：伊勢市産業支援センター、楽市：外宮参道
参加者数 6 名 (延べ 52 名)

(キ) 雇用・就労支援

○三重大学学生の地元企業視察

地元企業の人材確保の足がかりとして、6月及び9月に三重大学と協働する形で、三重大学工学部の学生を対象に地元企業の視察会を開催した。企業概要や独自技術を学生や教職員にPRする場を地元企業に提供し、将来の雇用に繋がるよう努めた。

・電気・電子工学科3年生

実施日 6月9日
参加者 51名 (学生48名、引率3名)
視察先 シンフォニアテクノロジー(株)伊勢製作所
(株)トラスト電器伊勢工場

・機械工学科 2 年生

実施日 9 月 8 日、9 日

参加者 79 名（学生 75 名、引率 4 名）

視察先 1 日目 横浜ゴム(株)三重工場、(株)U L Japan

2 日目 キクカワエンタープライズ(株)

○皇學館大学学生の地元企業視察

皇學館大学の学生（新 4 回生）に対し地元企業（工場）の視察会を開催することで、企業概要や独自技術を学生に P R する場を地元企業に提供し、将来の雇用に繋がるよう努めた。

実施日 2 月 23 日

参加者 29 名（学生 26 名、引率 3 名）

視察先 (株)林イマニティ、キクカワエンタープライズ(株)

(株)マस्याグループ本社、御木本製菓(株)

○南勢地域高等学校教職員の地元製造企業視察

昨年度は実施できなかった南勢地域高等学校の教職員向けの視察会を 3 月に 2 回実施した。企業概要や独自技術を教職員に P R する場を地元企業に提供し、将来の雇用に繋がるよう努めた。

・第 1 回

実施日 3 月 2 日

参加者 22 名（教職員 22 名）

視察先 八木段ボール(株)、松屋製菓(株)、横浜ゴム(株)三重工場

・第 2 回

実施日 3 月 7 日

参加者 15 名（教職員 14 名、市職員 1 名）

視察先 (株)マस्याグループ本社、シンフォニアテクノロジー(株)伊勢製作所

(株)宮忠、伊勢金型工業(株)

(ク) 計画・推進体制の確立

○企業データベース、企業カルテの整備

企業の所在地・業務内容・取引先などの基礎情報を集約した「企業データベース」と、企業訪問や支援経過を記録した「企業カルテ」を整備した。

企業数	新規登録	廃業	市外移転
535 社	1 社	5 社	0 社

(ケ) その他

○企業支援情報の発信

市内中小製造業者に対して、メールマガジンとダイレクトメールにて伊勢市産業支援

センター及び関連機関の企業支援に関する情報を提供した。

情報提供方法	情報提供企業数	送付件数
メールマガジン(Eメール)	約 328 社	49回
ダイレクトメール(郵送)	約 500 社	2回

○講演会等外部支援状況の情報収集

- ・産業支援研修会等への参加

地域活性化につながる産業支援を一層推進するため、他団体が主催する会議へ出席し、情報交換を行った。

年月日	場所	研修会等
27. 6. 16	津市	機能性表示制度に関するセミナー
27. 7. 22	奈良県	伊勢伝統工芸保存協会視察研修
27. 10. 2	大津市	三重県・滋賀県 IM 合同研修会
27. 10. 21	名古屋市	事業引継ぎ支援セミナー
27. 11. 10	四日市市	三重県中小企業家同友会 経営研究集会
27. 11. 21	伊勢市	伊勢春慶の会 10 周年感謝の集い
27. 12. 4	四日市市	三重県・滋賀県 IM 合同研修会

- ・展示会での情報収集・情報発信

市内製造業者への支援のための情報収集及び情報発信を目的に、みえリーディング産業展 2015&次世代のものづくり基盤技術産業展 (TECH Biz EXPO 2015) (11/20) の視察に参加した。

○自主事業

- ・各種材料試験の実施

F R P 新造船の材料試験 (8 件) と引張・圧縮・せん断の材料試験 (3 件) の計 11 件を行った。

(2) 伊勢市産業支援センター運営協議会

伊勢市産業支援センターの円滑かつ適正な運営を図るため、地元企業や関係団体などで構成される運営協議会を開催し、指定管理者による運営についての意見聴取を行い、地域企業の意見等を可能な限り施策に反映させた。また、関係団体との連携・調整等に努めた。

1 1 消費生活関連事業

(1) 消費生活相談業務

伊勢市消費生活センターにおいて、架空請求や悪質商法、クーリング・オフなど、消費生活にまつわるトラブルに関し、専門相談員による相談を行った。電話又は窓口にて相談者にアドバイスをを行い、相談内容によっては、事業者への確認や交渉の手助けを行うなど、消費者問題の早期解決に努めた。

消費生活相談件数	764 件
----------	-------

(2) 啓発活動

消費者被害を未然に防ぐために地域包括支援センターと連携をとりながら、高齢者クラブを中心に出席講座を開催した。出席講座では、消費生活センターの紹介や、被害にあわないため

に気をつけること等、これまでの事例をもとに市で作成した紙芝居を使ってわかりやすい講座を実施した。

また、子どもの頃からの消費者教育の重要性を認識し、小学校や放課後児童クラブでお買い物ゲームを通して、お金の使い方を学ぶ体験型の授業を実施した。

このほか伊勢市消費生活センターを周知するため、市内で開催されるイベントへブース出展した。

内 容	対 象	件数 (件)
出前講座	高齢者クラブ ほか	20
出前授業	小学校・放課後児童クラブ	3
イベントへの出展	来場者	2

(3) 多重債務対策

多重債務に陥っている人が誰にも相談できず、解決の糸口さえ見つからないということがないよう、関係各課に消費生活センターへの案内を依頼した。

多重債務について相談があった際は、消費生活センターにて相談を受け付け、基本的な事項を聴き取ったうえで、司法書士や弁護士事務所の紹介・相談予約を行った。多重債務者を確実に法律専門家へつなげることで、多重債務問題の解決に努めた。

また、三重県司法書士会の協力を得て、毎月第3木曜日に無料多重債務相談会を開催した。

多重債務相談件数	71 件
----------	------

○ 労政関係

1 雇用対策事業

(1) 若年求職者等支援事業

若年者の中には、離職を繰り返す方、働く意欲はあるものの就職に至らない方、働く意欲が低下するなど社会生活そのものが困難な方など、職業的な自立が困難な方が多数存在しており、その要因は多岐に及ぶ。若年求職者・無業者に対して、国が設置する「いせ若者就業サポートステーション」と連携し、個別ケースに合わせた支援を実施することで、安定した就職の実現を目指した。

○伊勢市若者就職総合支援業務委託

- ・実施期間 平成 27 年 4 月 10 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・委託先 特定非営利活動法人いせコンビニネット
- ・委託料 4,066,288 円
- ・実績
 - ・臨床心理士等を配した面談による心理カウンセリング
実施回数：12 回
利用者数：延べ 30 人
 - ・適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム
実施回数：30 回
利用者数：延べ 80 人

- ・講演会
実施回数：1回
参加者数：16人
- ・セミナー・講座
実施回数：25回
利用者数：延べ102人
- ・就労体験
実施回数：96回
利用者数：延べ306人
- ・市内事業所見学会
実施回数：4回
利用者数：延べ24人
- ・ネットワーク会議
民間ネットワーク会議 平成28年3月29日 出席者数：8人
行政ネットワーク会議 平成27年11月20日 出席者数：8人

○若年者就職支援事業業務委託（【緊急雇用創出事業】地域人づくり事業）

国の「緊急雇用創出事業 地域人づくり事業」を活用した「若年者就職支援事業」を実施した。

- ・実施期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日
- ・委託先 特定非営利活動法人いせコンビニネット
- ・委託料 4,027,160円
- ・実績
 - ・学び直しセミナー
実施回数：182回
利用者数：延べ182人
 - ・ボランティア体験
実施回数：36回
利用者数：延べ103人
 - ・事業目標（就職者数） 7人以上
 - ・事業結果（就職者数） 8人

（2）就労支援事業

①障がい者雇用促進の取り組み

ア 伊勢公共職業安定所と連携し、障がい者雇用の促進を目的として、伊勢市内の障害者雇用状況報告対象事業所（従業員50人以上）を訪問し、啓発活動を実施した。

実施日	訪問事業所数
27.6.17、7.16、7.24、7.28、8.19	12

イ 伊勢商工会議所・小俣町商工会を訪問し、さらなる障がい者雇用の推進及び「障がいのある方が安心して生活できる住みよいまちづくり」への協力を依頼した。

・実施日 平成 27 年 10 月 6 日

②女性の再就職支援

結婚、出産、育児などにより離職した女性の再就職支援を目的に、『女性の再就職支援セミナー』を開催した。

・実施日 平成 27 年 10 月 27 日

・場 所 サンライフ伊勢

・参加者数 12 人

2 勤労者福祉事業

(1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金

伊勢市、鳥羽市及び玉城町の区域内の中小企業で働く勤労者と事業主への勤労者福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、伊勢市、鳥羽市、玉城町で構成する一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対して管理運営費の補助を行った。

名 称	一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター
所在地	八日市場町 13 番 13 号 (サンライフ伊勢内)
実施事業	生活安定事業、健康管理事業、教室・生涯学習援助事業、余暇活動事業、余暇施設事業 など
補助金額	13,284,000 円 (うち伊勢市負担金 10,372,000 円)
会員数 (平成 28 年 3 月)	776 事業所、4,666 人

(2) 勤労者ふれあい事業

10 月 12 日 (月・祝) 県営サンアリーナにて、一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとり T・I・M・E y o u ・ゆ う ・遊 i n g」を開催した。

当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約 25,000 人の参加があり、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。

3 高年齢者労働対策事業

(1) 高年齢者労働能力活用事業費補助金

社会の高齢化が急速に進む中、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した、公益社団法人伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。

名 称	公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター
所在地	河崎1丁目4番35号
実施事業	高齢者に相応しい臨時的・短期的な就業（軽作業）、福祉・家事援助サービス等の提供
補助金額	19,280,000円
会員数等 (平成28年3月)	会員数850人、延べ就業人数83,288人 受託件数4,542件、契約金額363,421,827円

4 勤労者福祉施設管理運営事業

(1) サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢について、平成18年9月から指定管理者制度に移行しているため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施した。

指 定 管 理 者	指 定 管 理 料 (平成27年4月～平成28年3月分)
一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター	5,741,486円

○運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区 分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 434	件 126	件 575	件 278	件 848	件 22,489	件 24,750
利用者数	人 4,822	人 1,491	人 16,935	人 4,117	人 20,898	人 22,489	人 70,752

イ 利用料収入

区 分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
27. 4～28. 3	14,658,675円	501,720円	381,140円	15,541,535円

ウ 自主事業

区 分	講座の種類と講座数	講座回数	延べ受講者数
趣味づくり	9種 11講座	318回	8,777人
健康づくり	8種 11講座	444	11,419
短期講座	2種 2講座	12	203
計	19種 24講座	774	20,399

○ 工事関係

施設整備工事を行い、施設環境の向上を図った。

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
八日市場町地内	サンライフ伊勢 1階ロビー空調機 取替工事	1階ロビー空調機取替 AC-1（天カ形4方向同時トリプル 一式	円 1,274,400	27.11.6	27.12.4
〃	(注) サンライフ伊勢 駐車場改修工事	階段工 一式 フェンス工 一式 車止め工 一式	496,800	28.2.22	28.3.25
計	2件	—	1,771,200	—	—

(注) 農林水産課施行

(2) 労働福祉会館管理運営事業

労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。

○伊勢市労働福祉会館運営委員会

平成 27 年 12 月 2 日 平成 26 年度及び平成 27 年度の利用状況について

・組 織

委員 長 副市長

副委員長 産業観光部長

委 員 労働者を代表する者 4 人

公益を代表する者 4 人

市職員を代表する者 2 人

○運営状況

ア 使用件数及び使用者数

区 分	大会議室	第 1 会議室	第 2 会議室	第 3 会議室	第 4 会議室	計
使用件数	件 132	件 400	件 281	件 44	件 150	件 1,007
使用者数	人 7,181	人 7,770	人 3,356	人 553	人 1,669	人 20,529

イ 使用料収入

区 分	施設使用料	設備器具 使用料	冷暖房設備 使用料	計
27. 4～28. 3	1,725,640 円	75,860 円	263,010 円	2,064,510 円

5 融資対策事業

(1) 勤労者持家促進資金貸付金

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が、市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。
なお、協調融資期間は 10 年間である。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高(平成 28 年 3 月)
0 件	0 円	2,240,000 円	2,180,560 円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫から返還された。

○ 産業支援関係

1 企業立地推進事業

(1) 企業訪問の実施

企業訪問による企業誘致活動、工場新設及び増設計画の情報収集を実施した。また、市内企

業の市外流出抑制のための営業活動を実施するとともに、市外企業については関係機関等とも連携し企業訪問を実施した。

訪問地域	訪問件数	備考
県外	32 件	(首都圏 28 件、関西圏 2 件、中京圏 2 件)
県内 (市内除く)	4	—
市内	104	—
計	140	—

(2) 伊勢志摩地域産業活性化協議会

- ・構成 県市町 伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町・三重県
- ・目的 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律（企業立地促進法）に基づき、産業集積の形成又は産業集積の活性化に関する基本的な計画の策定及びその実施に関し必要な事項、その他地域における産業集積の形成又は産業集積の活性化に関し必要な事項について協議を行うことにより、当該地域における産業集積の形成及び産業集積の活性化のために当該地域の地方公共団体等が行う主体的かつ計画的な取組に寄与することを目的とする。

・負担金 1,813,280 円

①伊勢志摩地域企業連携セミナーin 東京の開催

伊勢志摩地域への企業立地に繋げるため、首都圏の企業関係者と一堂に会して情報発信を行い、交流を深めることを目的に開催した。

開催日時：平成 27 年 11 月 9 日（月）14：30～18：45

開催場所：第一ホテル東京 東京都港区新橋 1-2-6

出席者：114 人（関東の製造業を中心とした企業経営者及び役員、金融機関、ゼネコン、経済界で活躍されている地元出身者など。）

内容：受付 14：00～

第 1 部 企業立地セミナー 14：30～17：05

- ・主催者挨拶及び伊勢志摩地域の紹介
- ・5 市町の首長等が地域についてプレゼン
- ・三重県の優遇制度についてプレゼン
- ・記念講演会

講師：東海旅客鉄道株式会社 特別顧問 松本正之 氏

第 2 部 交流会 17：15～18：45

- ・三重県副知事が挨拶
- ・出席者との交流、情報交換
- ・伊勢志摩地域の食材による料理を提供

②人材育成事業の実施

協議会の事業として人材育成セミナーを開催した。

会場	年月日	参加人数	内容
伊勢市産業支援センター	27. 10. 16	17名	経営者及び営業担当者を対象として、同業者と差別化し顧客獲得していく営業戦略や発想を習得する講習。

(3) 企業誘致の実績

サン・サポート・スクエア伊勢への企業誘致を行った。

企業名	業種	用地譲渡面積	用地譲渡価格	新規雇用予定数	契約日
(株) 永南	電機機械器具製造業	4,959.87 m ²	72,414,000 円	5人	27. 9. 16

全体面積 80,718.54 m²、立地決定済面積 74,835.95 m² (92.7%)

サン・サポート・スクエア伊勢への立地協定を締結した。

企業名	業種	用地譲渡面積	用地譲渡価格	新規雇用予定数	立地協定締結日
キクカワエンタープライズ (株)	生産用機械器具製造業	5,882.59 m ²	80,732,000 円	未定	27. 9. 17

全体面積 80,718.54 m²、立地決定済面積 80,718.54 m² (100%)

神菌工業団地への立地基本協定を締結した。

企業名	業種	用地譲渡面積	用地譲渡価格	新規雇用予定数	立地基本協定締結日
(株) 赤福	食料品製造業	約 94,000 m ²	未定	10人	28. 1. 21

(4) 神菌地区揚水試験業務委託

神菌工業団地の地下水利用について、企業に提案する必要が生じたため既存の井戸を使用し揚水試験を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
神菌町内	(注)、(注1) 神菌地区揚水試験業務委託	揚水試験及び水質検査一式	497,880 円	28. 3. 25	28. 4. 28

(注) 平成 28 年度へ繰越

(注1) 用地課から執行委任

(5) 企業立地用地の整備工事

サン・サポート・スクエア伊勢について、企業の進出計画に合わせた污水管及び歩道の設置、並びに老朽化していた街灯の撤去とベンチ及びインターロッキングの補修を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町地内	(注) サン・サポート・スクエア伊勢污水管渠布設工事	管布設工 146m	円 9,839,880	27. 7.31	27. 11.27
〃	(注) サン・サポート・スクエア伊勢舗装工事	施工延長 203m 舗装工 602 m ² 歩車道境界ブロック工 116m 地先境界ブロック工 152m	4,784,400	27. 12.25	28. 2.29
〃	サン・サポート・スクエア伊勢整備工事	街灯撤去工 96基 ベンチ補修工 7か所 インターロッキング補修工 4 m ²	1,242,000	28. 1.25	28. 3.22
計	3件	—	15,866,280	—	—

(注) 農林水産課施行

2 工場等誘致奨励事業

(1) 企業立地用地ならびに各種奨励制度の周知

各種奨励制度の見直しを行い伊勢市工場等立地促進条例の一部改正を行った。工業団地が全て売約済みとなり、工業団地のみ対象となっていた用地取得奨励金の対象地域を市内全域に拡大した。ポストサミットとして、MICEが増加する可能性はあるものの、大規模な広間と洋式の客室を兼ね備えたホテルが少なく、また、今後のインバウンドも見込み、奨励制度の対象に旅館業を加えた。

市内への工場等の誘致・誘導について、伊勢市ホームページ等による工業団地や各種奨励制度の周知に努めた。

(2) 工場等誘致奨励金の交付

本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、伊勢市工場等立地促進条例に基づき奨励金を交付した。

事業者名	交付決定額	概要
(株) トラスト電器	円 13,143,000	用地取得奨励金
ヤマナカフーズ (株)	1,000,000	雇用奨励金
(株) 利八屋	800,000	雇用奨励金
キクカワエンタープライズ (株)	4,455,500	設備投資奨励金
ヤマナカフーズ (株)	2,647,600	設備投資奨励金
(株) 利八屋	1,014,300	設備投資奨励金
計	23,060,400	6件

3 企業立地推進一般経費

(1) 企業立地・産業支援研修会への参加

地域活性化につながる企業立地を一層推進するため、研修会に参加し職員の資質を高め、情

報収集に努めた。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
27. 8. 5 ~ 27. 8. 7 (3日間)	企業立地促進法実務担当者 研修	東京都	経済産業省主催 企業立地促進法の理解、補助金、税 等の支援制度等の情報を得て、立地 政策に関する見識を深めた。

(2) 企業立地用地の分筆及び鑑定評価

サン・サポート・スクエア伊勢について、分譲のための区画変更に伴う分筆及び土地評価額意見書の作成を依頼した。

(3) 企業立地用地の維持管理

サン・サポート・スクエア伊勢について、企業進出に伴いLED外灯4か所（電柱共架型2か所、ポール型2か所）、カラーコンクリート柱を7か所に設置したほか、市有地の草刈を行い適切な維持管理に努めた。

○ 伊勢志摩サミット関係

1 伊勢志摩サミット推進事業

(1) 伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議

伊勢志摩サミットの開催を契機として、市民及び事業者の「おもてなし」の心を育むとともに、伊勢を訪れる方々を「おもてなし」の心を持って温かく迎えることにより、何度も訪れたくなる魅力あるまちにすることを目的として、平成27年7月31日、「伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議」を設立し次のとおり会議を開催した。

・開催状況

開催日	議 事	会 場
【第1回】27. 7. 31	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議規約（案）について サミットに関する三重県及び各市町の主な動きと伊勢市の対応方針について 	御菌公民館 2階講堂
【第2回】27.10. 9	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢市の取り組み等について 伊勢志摩コンベンション機構の取り組みについて 提案事項について 質問事項について 	東庁舎 4-3 会議室
【第3回】27.10.30	<ul style="list-style-type: none"> おもてなし会議での実施事項について 報告事項について 	御菌公民館 2階講堂
【第4回】28. 1. 22	<ul style="list-style-type: none"> 顧問の交代について 伊勢市の取り組みについて おもてなし会議の取り組みについて 報告事項について 	東庁舎 4-3 会議室
【第5回】28. 3. 1	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢市の取り組みについて おもてなし会議の取り組みについて 報告事項について 	本館 4-5 会議室

(2) 伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議の取組み

① クリーンアップ活動の実施

伊勢志摩サミット開催に向け、当市を訪れる方々をきれいな街なみでお迎えするため、次のとおりクリーンアップ活動を実施した。

・開催状況

開催日	開催場所	参加人数
28. 2. 14	伊勢市駅・宇治山田駅周辺 五十鈴川駅周辺 二見浦駅周辺	約 960 人
28. 5. 7【予定】	県営サンアリーナ周辺	—
28. 5. 15【予定】	市内の自治会・区内の区域	—

② 花いっぱいおもてなし運動の実施

国際メディアセンターとなる県営サンアリーナ横の朝熊山麓公園花の広場において、朝熊山麓に花を咲かす会及び明野高等学校の協力を得て、市民参加型の植栽イベントを実施するための準備を進めた。

③ 吊下げ旗の作成

伊勢志摩サミットで来訪される方を歓迎する意を込めて、吊下げ旗を作成した。吊下げ旗は、市内の主要駅、商店街、自治会、公共施設等に配布し、市民の機運の醸成を図った。

- ・作成数：650 枚

④ 指さし会話補助シートの作成

伊勢志摩サミットを機に、外国の方々を積極的に迎えようとするべく、外国語会話の補助ツールとして作成した。言語については、韓国、中国、香港、台湾、アメリカの方が多く来訪されていることから下記の4言語を選定した。

- ・作成部数：物販編 2,000 部、飲食編 1,000 部、宿泊編 500 部、タクシー編 300 部
- ・配布先：商店、飲食店、旅館・ホテル、タクシー会社
- ・言語：英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語

農 林 水 産 課

○ 農業振興関係

1 伊勢地域農業共済事務組合事業

農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、「伊勢地域農業共済事務組合」の運営経費の一部を構成7市町で負担した。

伊勢市負担分 35,101,000 円

構成7市町 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

2 農業経営基盤強化促進事業

(1) 「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。

認定農業者件数 129 件 (平成 28 年 3 月末現在)

認定新規就農者 2 件 (平成 28 年 3 月末現在)

平成 27 年度新規認定 6 件 (認定農業者 5 件、認定新規就農者 1 件)

(2) 効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等への農地の利用集積を進めた。

○農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積
利用権設定 (累積)	562.1 ha
27.4~28.3 実績	
設 定	138.4
中途解約・期限切れ	72.9
所有権移転	0.6

3 利子補給補助事業

効率的かつ安定的な農業経営を目指す認定農業者を支援するため、経営改善のための農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名	対象件数	利子補給額	備考
農業近代化資金	件	円	市単独事業
	上半期	82	
	下半期	88	198,444
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)	5	200,643	うち県補助金 95,085 円
計	175	592,711	

4 遊休農地活用事業

農村環境や農業経営の現場で様々な問題を引き起こす遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、遊休農地を営農可能な状態に回復するための支援を行った。

交付単価 補助対象経費の2分の1以内の額
ただし、50,000円/10aを上限に必要な経費を助成する

事業費 750,000円（市単独事業）

5 新規就農者総合支援事業費補助金

新規就農するにあたって所得の確保が課題となっていることから、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する給付金を給付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。

給付額 3,750,000円

（新規対象者1,500,000円×1名分＋継続対象者750,000円（半期分）×対象者3名分）

※国の平成26年度補正事業により平成27年度給付分の前倒し支払いがあったため、継続対象者の支払金額は、上記のみとなっている。

6 経営体育成支援事業

中心経営体等が、経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入等について支援することで中心経営体等の育成・確保を図った。

事業主体	補助内容	事業費	補助額
(有) 松幸農産	コンバイン	円 11,664,000	円 3,000,000
宇野 充浩	色彩選別機一式	3,710,000	1,113,000
(株) サンライズやまぶき	トラクター 及びアタッチメント	6,727,520	1,868,000
計		22,101,520	5,981,000

7 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成27年度除外予定分

利用計画変更分	件数	面積
農用地除外	9 件	10,733 m ²
農用地編入	12	61,530
用途変更	6	2,500

事業費 122,470円（市単独事業）

8 農業振興事業

農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。

(1) 蓮台寺柿保存育成事業補助金

300年以上の歴史をもち、市の天然記念物である蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけ、地域の特産物として保存育成するため、苗木育成、共同防除その他の事業を支援することで、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

事業主体	蓮台寺柿保存育成研究会
事業費	174,749 円
補助額	31,454 円

(2) 三重県伊勢志摩指導農業士会活動助成金

地域農業のリーダーである指導農業士会が行う農業後継者育成の活動及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先	伊勢志摩指導農業士会
補助額	120,000 円 (20,000 円/1名×市内在住6名分)

(3) 三重県伊勢志摩青年農業士会活動助成金

地域農業の担い手である青年農業士会が行う農業技術向上のための研修交流及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先	伊勢志摩青年農業士会
補助額	30,000 円 (10,000 円/1名×市内在住3名分)

(4) 農業振興補助金

農業の持続的発展及び農村の振興に資する農業者等の行う事業に対して補助金を交付し、支援を行った。

交付先	補助内容	事業費	補助額
J A伊勢 (御菌受託者部会)	トラクターアタッチメント導入	円 2,190,888	円 657,266

9 生産調整推進対策事業

米穀の需給と価格の安定を図るため、伊勢市農業再生協議会を主体とした地域農業者・農業団体が主体的に取り組む米の需給調整を推進・支援した。

生産調整推進対策の実績

	25年産	26年産	27年産
水稲作付面積目標	1,680 ha	1,682 ha	1,666 ha
作付段階における 主食用作付面積	1,615	1,580	1,479

10 経営所得安定対策推進事業

意欲ある農業者が需要のある作物を生産することに対して交付金を交付することにより、農業経営の安定や農地の有効利用を図った。

事業費 6,723,983 円 (全額国補助金)

11 6次産業化推進事業

6次産業化という新しい農林水産業経営の考え方を地域の農林漁業者等に周知・定着化を図り、経営向上に向けた6次産業化への取り組みの推進を図った。

6次産業化ステップアップ研修会の参加(平成27年10月1日～10月22日 毎週木曜)

6次産業化講演会の開催(平成28年1月19日)

6次産業化先進地視察(平成28年1月19日)

6次産業化視察研修(平成28年2月18日)

事業費 361,724 円(市単独事業)

12 農産物ブランド化推進事業

近年、産地間競争の激化に伴う農産物価格の低迷などにより農業を取り巻く環境は厳しい状況になっている。その中で、消費者に選ばれる農産物を提供していくことは重要であることから、市の農産物のブランド化を推進する取り組みに対して支援し、地域農業の振興を図った。

交付先	事業費(円)	補助額(円)
J A伊勢いちご部会	2,171,448	1,000,000
J A伊勢	2,646,000	1,000,000
J A伊勢ネギ部会	1,640,000	759,000
J A伊勢トマト部会	111,261	51,000
農業組合法人鈴木農園	997,896	461,000
計	7,566,605	3,271,000

13 地産地消推進事業

(1)伊勢市地産地消の店認定制度

平成19年12月に創設した「伊勢市地産地消の店認定制度」に基づき、市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。

平成27年8月認定店 12店舗(内訳:飲食店10、小売店2)

※累積:74店舗(飲食店51、宿泊施設2、小売店10、直売所5店、量販店6)

事業費 265,434 円(市単独事業)

(2)伊勢市農産物等消費推進事業補助金

地域農業における農村コミュニティーの再構築や地域農業の維持発展を目的に、地域で採れた農産物などを地域で消費する「地産地消」活動である農産物直売所事業に対して消

耗品や資材面で支援を行った。(市単独事業)

交付先	事業費	補助額
佐八野菜グループ	円 30,701	円 30,701
伊勢市産直部会	54,000	50,000
まぜ楽市	50,045	50,000
ハノカの里	49,162	49,162
計	183,908	179,863

14 特色ある農産物づくり支援事業

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。

事業主体 馬瀬営農組合

事業内容 馬瀬営農組合で新たに栽培を始めたソバの製粉を行うため石臼を導入し、自家加工による付加価値の向上を図った。

事業費 107,800 円

補助額 53,900 円 (市単独事業)

15 農業体験学習事業

食育推進の一環として農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食をはぐくむ産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。

事業費 436,540 円 (市単独事業)

実施日	対 象	内 容
27. 4. 28	有緝小5年生 (98人)	水稲 (田植え：小俣町地内)
〃	早修小2年生 (14人) 5年生 (11人)	水稲 (田植え：小俣町地内)
〃	進修小5年生 (28人)	水稲 (田植え：小俣町地内)
〃	小俣小5年生 (112人)	水稲 (田植え：小俣町地内)
27. 4. 30	修道小5年生 (43人)	水稲 (田植え：村松町地内)
〃	大湊小5年生 (24人)	水稲 (田植え：村松町地内)
〃	御菌小5年生 (65人)	水稲 (田植え：村松町地内)
27. 5. 1	宮山小5年生 (26人)	水稲 (田植え：東大淀町地内)
〃	東大淀小5年生 (20人)	水稲 (田植え：東大淀町地内)
27. 11. 4	佐八小3年生 (10人)	蓮台寺柿 (収穫等：勢田町地内)
27. 12. 15	進修小3年生 (24人)	青ねぎ (定植：小俣町地内)
28. 2. 4	進修小3年生 (24人)	青ねぎ (収穫等：小俣町地内)

16 農地中間管理事業

今後、農業者の減少により耕作者のいない農地の増加が見込まれる。そこで、農地の中間受け

皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化に対する周知・定着を図った。

業務委託費 218,150 円 (全額機構委託金)

貸付実績 4.3ha (地権者→機構) ※担い手へは平成 28 年度中に貸付

17 人・農地問題解決加速化支援事業

農業が厳しい状況に直面している中で、持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を一体的に解決していく必要がある。そこで、それぞれの集落・地域において話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」の作成に関する支援を行った。

人・農地プラン作成地域 2 地区 【栗野町、伊勢市全域（作成済地域を除く）】

○ 施設管理関係

1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕工事や草刈業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
栗野町 地内	菱川除草業務委託	除草業務 一式	円 56,046	27. 7. 7	27. 7. 30
一色町 地内	一色町農業用排水施設浚渫詳細設計に伴う測量業務委託	測量業務 一式	486,000	27. 7. 24	27. 9. 17
〃	一色町農業用排水施設浚渫詳細設計業務委託	設計業務 一式	1,707,480	27. 8. 7	27.11.13
二見町松 下地内ほ か	二見町ふるさと農道除草業務委託	除草業務 一式	77,083	27. 8. 24	27. 9. 11
津村町 地内ほ か	(注1)(注2) 伊勢自動車道側道ほか除草等業務委託	除草業務 一式	3,759,480 【契約額】 5,617,080 [農林水産課] 3,759,480 [維持課] 1,857,600	28. 1. 27	28. 5. 27
計	5 件	—	6,086,089	—	—

(注1) 維持課から執行委任

(注2) 平成 28 年度へ繰越

※合計は、各行の最上段を合算

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
鹿海町内 地	農業用排水路蓋設置等工事	蓋設置等 6 か所	円 99,360	27. 4. 21	27. 5. 21
中須町内 地	農業用排水路法面修繕工事	法面修繕 40.5m	270,000	27. 5. 8	27. 5. 29
二見町西 地	農道路肩修繕工事	路肩修繕 一式	54,000	27. 6. 15	27. 6. 19
鹿海町内 地	農道修繕工事	農道修繕 9 m ²	91,800	27. 6. 16	27. 6. 22
〃	集水柵修繕工事	集水柵修繕 一式	43,200	27. 8. 18	27. 10. 14
〃	農業用排水路スクリーン設置 工事	スクリーン設置 2 基	91,800	27. 8. 21	27. 9. 1
西豊浜町内 地	農業用排水路修繕（その2）工 事	排水路修繕 6.5m	199,800	27. 9. 8	27. 10. 6
栗野町内 地	農業用排水路修繕工事	排水路修繕 10m	321,840	27. 10. 19	27. 11. 27
朝熊町内 地	農業用排水路修繕（その3）工 事	排水路修繕 一式	99,360	27. 12. 4	27. 12. 25
西豊浜町内 地	農業用排水路修繕（その4）工 事	排水路修繕 一式	99,360	27. 12. 7	27. 12. 21
二見町松下 地	二見町松下スライドゲート修 繕工事	ゲート修繕 一式	480,600	28. 2. 5	28. 3. 11
佐八町内 地	農業用排水路法面修繕（その 2）工事	法面修繕 一式	302,400	28. 2. 8	28. 2. 16
栗野町内 地	農業用排水路修繕（その5）工 事	排水路修繕 22m	615,600	28. 2. 12	28. 3. 25
小木町内 地	農業用排水路蓋設置工事	排水路蓋設置 20 枚	206,280	28. 3. 14	28. 3. 28
計	14 件	—	2,975,400	—	—

ウ 重機借上・原材料支給

	施 行 場 所	金 額
重機借上	小俣町宮前地内 ほか12件	円 3,267,540
原材料支給	黒瀬町地内 ほか7件	1,085,832
計	—	4,353,372

2 多面的機能支払交付金事業

(1) 農地維持支払

農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げや農道の路面維持等の地域資源の基礎的保全活動や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化等、多面的機能を支える共同活動に対する支援、推進を行った。

実施地区 26 組織(一色、西豊浜町森区、有滝、村松、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町西、西豊浜町上区、東大淀、黒瀬、西豊浜町小川区、田尻町、小木町)

実施面積 1,694.09 ha

支援金総額 49,324,600 円 (伊勢市負担分 12,331,150 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

(2) 資源向上支払 (共同活動)

地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動に対し支援を行った。支援対象については、26 組織のうち地域住民を含む組織で形成されている 24 組織である。

実施地区 24 組織(一色、西豊浜町森区、有滝、村松、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町西、西豊浜町上区、東大淀、黒瀬、西豊浜町小川区)

実施面積 1,649.69ha

支援金総額 28,850,484 円 (伊勢市負担分 7,212,621 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

(3) 資源向上支払 (施設の長寿命化のための活動)

地域住民を含む組織が取り組む、施設の長寿命化のための活動に対し支援を行った。支援対象については、26 組織のうち施設の老朽化が進んでいる 18 組織である。

実施地区 18 組織(一色、村松、柏、上地、栗野、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、中須、馬瀬、小俣、磯、二見町西、西豊浜町上区、東大淀、黒瀬)

実施面積 1,389.88ha

支援金総額 57,824,960 円 (伊勢市負担分 14,456,240 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

3 二見しょうぶロマンの森維持管理経費

(1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(「民話の駅蘇民」「しょうぶ園」)について、

指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
- ・指定管理者 一般社団法人 民話の駅 蘇民
- ・平成 27 年度指定管理委託期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 4,949,486 円
- ・施設利用状況

期 間	開館数	来客人数
	日	人
27. 4. 1～27. 4. 30	30	11,531
27. 5. 1～27. 5. 31	31	14,106
27. 6. 1～27. 6. 30	30	15,900
27. 7. 1～27. 7. 31	31	12,888
27. 8. 1～27. 8. 31	29	11,645
27. 9. 1～27. 9. 30	29	11,275
27. 10. 1～27. 10. 31	31	12,046
27. 11. 1～27. 11. 30	30	11,386
27. 12. 1～27. 12. 31	31	13,552
28. 1. 1～28. 1. 31	28	9,825
28. 2. 1～28. 2. 29	29	11,474
28. 3. 1～28. 3. 31	31	12,671
計	360	148,299

4 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

(1)施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・平成 27 年度指定管理委託期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 2,451,000 円
- ・施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
	日	人
27. 4. 1～27. 4. 30	26	3,401
27. 5. 1～27. 5. 31	24	573
27. 6. 1～27. 6. 30	21	948
27. 7. 1～27. 7. 31	22	496
27. 8. 1～27. 8. 31	23	611

27. 9. 1～27. 9. 30	22 日	471 人
27. 10. 1～27. 10. 31	21	431
27. 11. 1～27. 11. 30	20	750
27. 12. 1～27. 12. 31	21	552
28. 1. 1～28. 1. 31	21	399
28. 2. 1～28. 2. 29	21	419
28. 3. 1～28. 3. 31	23	615
計	265	9,666

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
横 輪 町 地 内	案内板修繕工事	案内板修繕 一式	円 291,600	28. 3. 17	28. 3. 30

5 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

(1) 市有建物の貸付

所 在 地	構 造	建物面積	貸付先	貸付料(年額)	用途	期 間
小俣町湯田 55 番地	鉄骨造折板葺 平屋建	m ² 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 629,400	農産物販売 (産直市)	自 27. 4. 1 至 28. 3. 31

6 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区
- ・平成 27 年度指定管理委託期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 178,971 円

7 樋門の維持管理

流域への湛水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託することにより、樋門の機能を保持し、安全管理を図った。

(1) 三重県県土整備部所管

樋門名	所 在 地	委 託 先	管理委託料
東伊阿良	有 滝 町	有 滝 町 会	円 20,600
江 川	〃	〃	24,700

社 護 神	有 滝 町	有 滝 町 会	円 16,500
土路西条 4号	西豊浜町	上 区 自 治 会	16,500
土路西条 5号	磯 町	磯 町 自 治 会	16,500
矢 田 川	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会	20,600
津 村	津 村 町	津 村 町	16,500
宮 沼	〃	〃	20,600
名古屋新田	二見町三津	三 津 区	20,600
計	9 樋門	一	173,100

(2) 市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委 託 先	管理委託料
満 城	磯 町	磯 町 自 治 会	円 20,600
磯	〃	〃	16,500
相 合 端	〃	〃	16,500
堀 の 内	西豊浜町	森 区 自 治 会	16,500
中 島	〃	小 川 区 農 事 部	16,500
郷 垣 外	〃	〃	14,450
中 坪 井	〃	〃	16,500
下 坪 井	東豊浜町	東豊浜町西条自治会	16,500
浜	〃	〃	16,500
西 浦	〃	〃	16,500
西条第一	〃	〃	16,500
浦ノ山	〃	土 路 区 町 会	16,500
墓ノ浦	〃	〃	20,600
里 浦	〃	〃	16,500
一本松	檜 原 町	檜 原 町 会 自 治 会	16,500
枯 木 州	〃	〃	16,500
地 蔵 池	村 松 町	有 滝 町 会	14,450
南 挟 間	〃	〃	14,450
西の小端 第一	〃	有 滝 町 会	14,450
イナ川	有 滝 町	〃	16,500
西 曾	西豊浜町	豊 浜 土 地 改 良 区	17,600
亀 池	村 松 町	村 松 町 会	24,700
旧 汐 田	東大淀町	東 大 淀 町 会	17,600
明 野	〃	〃	15,000
東 勘 坊	柏 町	柏 町 会	17,600
大 切 戸	一 色 町	一 色 町 自 治 会	20,600

戸部神	一色町	一色町自治会	円 16,500
中渠	楠部町	楠部町自治会	17,600
小畑	中村町	中村土地改良区	15,000
八郎兵衛	鹿海町	鹿海町自治会	20,600
西新田	〃	〃	16,500
西沖	朝熊町	朝熊町自治会	16,500
保田	〃	〃	16,500
立岩	〃	〃	14,600
貝楠部	〃	〃	16,500
亀ヶ森	〃	〃	14,600
橘第二	〃	〃	14,600
橘	〃	〃	16,500
浜田	〃	〃	16,500
子良江古	〃	〃	16,500
雨渕川	上野町	上野町自治会	16,500
西	二見町西	西 区	14,450
計	42 樋門	—	703,050

8 陸こう門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に存在する陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

(1) 県所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
東大淀第 1・2 陸こう門	東大淀町	東大淀町会長	円 11,000

(2) 市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
西条第 1～6 陸こう門	東豊浜町	東豊浜町西条自治会長	円 33,000
村松第 1～8 陸こう門	村松町	村松町会長	44,000
有滝第 1～6 陸こう門	有滝町	有滝町会長	33,000
土路第 1～5 陸こう門	東豊浜町	土路区町会長	27,500
計	4 件	—	137,500

9 排水機場維持管理

農業用だけでなく集落地域の雨水排水にも稼働している公共性の高い排水機場について、維持管理を土地改良区等へ委託または補助することにより、農地及び集落の排水体制を維持した。

(1) 市所管排水機場操作業務委託

排水機場名	所在地	委託先	管理委託料
野口排水機場	東大淀町	東大淀土地改良区	円 50,000

(2) 土地改良区所管排水機場維持管理費補助

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 1,515,352
有滝第二排水機場	伊勢北部土地改良区	738,381
北鶴居ポンプほか	東大淀土地改良区	84,704
豊浜第二排水機場	豊浜土地改良区	22,618
社護神排水機場	有滝土地改良区	344,066
計	5件	2,705,121

(3) 排水機場維持管理事業

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
有滝町 地内ほか	(注) 農業用排水機場ほか管理 指導業務委託	管理指導	円 439,026	27. 4. 1	28. 3. 31

(注) 維持課へ執行委任

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
二見町三津 地内	三津ポンプ場電気設備修 繕工事	電気設備修繕 一式	円 92,880	27. 4. 6	27. 4. 13
朝熊町 地内	二見町三津揚水機場整備 工事	揚水ポンプ交換 1基	2,484,000	27. 7. 3	27. 8. 28
〃	二見町三津揚水機場整備 (その2) 工事	ポンプ着脱装置交 換 1基	378,000	27. 9. 14	27. 10. 6
計	3件	—	2,954,880	—	—

○ 畜産関係

1 畜産飼養頭羽数

種 類	肉 用 牛			乳 牛			肉 豚			採 卵 鶏		
	25	26	27	25	26	27	25	26	27	25	26	27
頭羽数 (頭羽)	322	535	640	7	7	5	570	592	500	23,800	23,000	19,500
戸 数 (戸)	6	6	5	1	1	1	1	1	1	5	5	3

2 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。

事業主体 株式会社 三重県松阪食肉公社
補助金 3,392,000 円

○ 農業基盤整備関係

1 農道整備事業

農業用道路において、拡幅や未舗装部分を改良することにより適切な維持管理を行い、農業用車両の安全な通行に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
鹿海町内 地	鹿海町農道舗装工事	m	円 96.0 1,062,720	27.10.2	27.11.30
中須町内 地	中須町農道舗装工事	66.0	856,440	27.10.23	27.11.25
柏町内 地	柏町農道舗装工事	264.3	3,908,520	27.10.23	27.12.3
東大淀町内 地	東大淀町農道舗装工事	290.0	4,003,560	27.11.20	28.1.18
上野町内 地	上野町農道舗装工事	62.0	864,000	27.11.24	27.12.22
小俣町湯田 地	小俣町湯田農道舗装工事	156.5	1,569,240	27.12.25	28.2.29
通町内 地	通町農道整備工事	222.0	4,280,040	27.12.25	28.2.29
有滝町内 地	有滝町ほか農道整備工事	194.0	3,532,680	27.12.25	28.3.4
計	8件	—	20,077,200	—	—

2 農業用排水路整備事業

農業用排水路において、老朽化した排水路を改良することにより、排水機能の回復と環境整備を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
神 菌 町 地 内	神菌町排水路整備工事	m 255.0	円 6,472,440	27.11.6	28.2.3
二見町西 地 内	二見町西排水路整備工事	181.7	6,737,040	27.11.6	28.2.12
佐 八 町 地 内	佐八町排水路整備工事	31.5	280,800	27.11.13	27.11.30
西 豊 浜 町 地 内	西豊浜町排水路整備工事	57.0	248,400	27.11.20	27.12.3
鹿 海 町 地 内	鹿海町用排水路整備工事	14.3	6,913,080	27.11.27	28.3.4
栗 野 町 地 内	栗野町排水路整備（その1） 工事	103.0	2,534,760	27.12.25	28.3.4
上 野 町 地 内	上野町排水路整備工事	35.9	3,602,880	27.12.25	28.3.15
栗 野 町 地 内	栗野町排水路整備（その2） 工事	300.0	5,115,960	27.12.25	28.3.15
小俣町新 地 内	小俣町新村排水路整備工事	83.0	918,000	28.1.22	28.3.22
二見町今 地 内	二見町今一色排水路整備工 事	51.0	680,400	28.1.27	28.3.4
計	10 件	—	33,503,760	—	—

3 農村地域防災減災事業

災害に強い農村づくりを進めるため、農業用ため池の耐震点検照査や頭首工改修計画書作成を行った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
黒 瀬 町 地 内	ため池耐震点検照査業務 委託	点検照査 2 か所	円 3,747,600	27.7.3	27.9.15
朝 熊 町 地 内	朝熊川統合頭首工改修実 施計画書作成に伴う測量 業務委託	測量業務 一式	1,195,560	27.7.10	27.9.7
〃	朝熊川統合頭首工改修実 施計画書作成業務委託	計画書作成 一式	5,300,640	27.7.10	27.11.30
計	3 件	—	10,243,800	—	—

4 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を進めた。

(1) 県営事業負担金

事業名	工事概要	事業費	市負担
(注1) 平成26年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区	水管橋設置工 一式 推進工 一式 幹線水路 510m	円 273,776,000	円 40,966,395
(注1) 平成26年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区	測量設計 一式	33,000,000	1,613,040
(注1) 平成26年度 農業用施設アスベスト対策事業 城田・下外城田地区	測量設計 一式	50,000,000	1,012,632
(注1) 平成26年度 高度水利機能確保基盤整備事業 小俣地区	支線水路 907m	50,000,000	5,846,667
(注2) 平成27年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区	水管橋設置工 一式 推進工 一式 幹線水路工 1,300m 支線水路工 3,100m	834,000,000	118,557,752
(注2) 平成27年度 県営かんがい排水事業 有爾中・明星地区	測量設計 一式	19,000,000	10,640
平成27年度 県営かんがい排水事業 田丸地区	調査設計 一式	7,500,000	541,125
(注2) 平成27年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区	幹線水路工 1,750m	198,000,000	9,414,564
(注2) 平成27年度 高度水利機能確保基盤整備事業 小俣地区	幹線水路工 200m 支線水路工 3,400m	209,500,000	9,647,500
平成27年度 農業用施設アスベスト対策事業 城田・下外城田地区	支線水路工 2,600m	55,000,000	2,599
計	10件	1,729,776,000	187,612,914

(注1) 平成26年度から一部繰越

(注2) 平成28年度へ一部繰越

(2) 補助金

土地改良区等が実施した事業に対して市の基準による補助金を交付した。

補助金支出先	施行年度	事業名	事業概要	市補助額
宮川用水 土地改良区	平成 27	土地改良施設維持管理適 正化事業 (35 期生)	用水機場整備補修 工事	円 600,000
〃	平成 27	地域農業水利施設ストッ クマネジメント事業	用水路更新工事	1,750,000
〃	平成 27	農業基盤整備促進事業 (御 菌地区)	用水施設整備工事	450,000
〃	平成 27	国営等関連特別県単事業 (小俣地区)	用水路整備工事	2,500,000
〃	平成 27	県単予防保全調査・補修事 業 (東豊浜地区)	用水路整備工事	1,400,000
〃	平成 27	県単基幹水利施設緊急調 査・補修事業 (大台地区)	用水施設補修工事	265,700
〃	平成 27	県単基幹水利施設緊急調 査・補修事業 (上地地区)	用水路補修工事	1,575,000
伊勢北部 土地改良区	平成 6~15	(注) 県営ほ場整備事業 (伊勢北 部地区)	区画整理工事	11,052,605
豊浜 土地改良区	平成 5~11	(注) 団体営土地改良総合整備 事業 (豊浜・森・小川地区)	用水施設整備工事 他	21,238,692
〃	平成 13~15	(注) 基盤整備促進事業 (大方後 地区)	用水路工事他	886,730
五十鈴川用水 土地改良区	平成 27	県営かんがい排水事業 (鹿 海、一色地区)	用水施設維持管理	387,754
宮川左岸第二 土地改良区	平成 27	栗野上地用水管漏水補修 事業	用水管補修工事	235,000
〃	平成 27	土地改良施設維持管理適 正化事業	管水路整備補修工 事	144,000
小俣町 土地改良区	平成 27	小俣町湯田地内仕切弁増設 工事	用水施設整備工事	122,400
横輪町町内会	平成 27	頭首工整備工事	頭首工整備工事	250,970
鹿海町自治会	平成 27	鹿海町木出頭首工取水門通 信制御回路修繕	頭首工修繕工事	134,000
計	16 件	—	—	42,992,851

○ 林業関係

1 林道修繕事業

大雨等により道路法面が崩れ通行に支障をきたしているため、必要な工事を施し、林道の機能回復を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	工事費	着工	完工
二見町松下地	鶴方林道土砂撤去工事	土砂撤去 一式	円 99,360	27. 9. 11	27. 9. 16
朝地熊町内	茅堂林道土砂撤去工事	土砂撤去 一式	99,360	27. 12. 1	27. 12. 18
〃	黒岩林道土砂撤去工事	林道修繕 一式	99,360	27. 12. 1	27. 12. 18
計	3件	—	298,080	—	—

2 環境保全林管理事業

(1) 市民の憩いの場である三郷山、音無山生活環境保全林、横輪環境保全林及び絆の森において、清掃、草刈り、修繕工事等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
横輪町内	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務 14,800 m ²	円 1,100,000	27. 4. 1	28. 3. 22
朝地熊町内	絆の森管理業務委託	管理業務 一式	300,000	27. 4. 1	28. 3. 24
浦口町地内ほか	三郷山清掃業務委託	清掃 年16回	300,000	27. 4. 1	28. 3. 29
二見町茶屋地内ほか	音無山管理業務委託	管理業務 一式	428,288	27. 4. 1	28. 3. 29
横輪町内	宮山管理業務委託	管理業務 一式	300,000	27. 4. 1	28. 3. 29
浦口町地内ほか	三郷山草刈等(その1)業務委託	草刈りほか 24,700 m ²	810,000	27. 5. 25	27. 7. 31
浦口町内	三郷山給水施設衛生管理業務委託	給水施設清掃・点検 一式	29,970	27. 6. 1	27. 7. 3
二見町茶屋地内	音無山樹木剪定業務委託	樹木剪定 一式	99,360	27. 6. 29	27. 7. 28
浦口町地内ほか	三郷山草刈等(その2)業務委託	草刈り 18,400 m ²	491,400	27. 11. 16	27. 12. 15
計	9件	—	3,859,018	—	—

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町茶屋 地 内	音無山土砂撤去工事	土砂撤去 一式	円 98,280	27. 9. 9	27. 9. 11
二見町茶屋 地 内 ほか	音無山消火器取替工事	消火器取替 一式	49,896	28. 1. 4	28. 1. 25
二見町茶屋 地 内	音無山防護柵修繕工事	防護柵修繕 一式	99,360	28. 1. 5	28. 2. 22
浦 口 町 地 内 ほか	三郷山ベンチ修繕工事	ベンチ修繕 一式	95,040	28. 1. 12	28. 1. 22
〃	三郷山遊歩道修繕工事	遊歩道修繕 一式	54,000	28. 1. 27	28. 2. 12
二 俣 町 地 内 ほか	三郷山水栓修繕工事	水栓修繕 一式	16,200	28. 1. 27	28. 2. 29
浦 口 町 地 内	三郷山防護柵修繕工事	防護柵修繕 24.0m	496,800	28. 1. 29	28. 3. 3
朝 熊 町 地 内	絆の森遊歩道修繕工事	視線誘導標修繕 一式	99,360	28. 2. 10	28. 2. 23
〃	絆の森広場修繕工事	法面ほか修繕 一式	99,360	28. 2. 19	28. 2. 25
辻 久 留 町 地 内	三郷山トイレ修繕工事	トイレ修繕 一式	12,960	28. 3. 15	28. 3. 23
計	10 件	—	1,121,256	—	—

(2) 横輪環境保全林の境界及び面積を明確にすることにより、市の財産を把握し更なる維持管理の向上を図るため、年次計画に基づき用地測量を行った。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
横 輪 町 地 内	横輪環境保全林用地測量 業務委託	用地測量 7.5ha	円 9,997,560	27. 11. 20	28. 3. 22

3 環境保全林整備事業

環境保全林の持つ機能の維持向上を図るため、三郷山及び横輪町環境保全林について、間伐整備を行った。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
横 輪 町 地 内	横輪環境保全林間伐業務 委託	間伐業務 0.95ha	円 486,000	27. 12. 17	28. 3. 15
二 俣 町 地 内 ほか	三郷山間伐業務委託	間伐業務 1.05ha	475,200	27. 12. 25	28. 2. 15
計	2 件	—	961,200	—	—

4 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町西地内ほか	松くい虫防除（地上散布）業務委託	薬剤散布 6.3ha	円 600,480	27. 5. 20	27. 6. 24
村松町地内ほか	村松松林ほか下刈業務委託	下刈り 15,000 m ²	260,000	27. 7. 17	27. 10. 23
二見町西地内ほか	二見保安林下刈業務委託	下刈り 2.5ha	1,239,840	27. 9. 9	27. 10. 2
東大淀町地内ほか	松くい虫防除（伐倒破砕その2）業務委託	枯松伐倒駆除 9.3 m ³	378,000	27. 12. 25	28. 3. 7
二見町今一色地内ほか	松くい虫防除（伐倒破砕）業務委託	枯松伐倒駆除 27.5 m ³	972,000	28. 1. 6	28. 3. 7
計	5件	—	3,450,320	—	—

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町今一色地内	二見松林整備工事	松林整備 800 m ²	円 1,242,000	27. 10. 13	27. 11. 6

5 森林環境創造事業

音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託している。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町江地内ほか	音無山施設管理業務委託	下刈り 遊歩道草刈り 3.8ha	円 972,000	27. 10. 13	27. 12. 18

6 獣害防止事業

(1) 有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行った。

件数	延べ人員	総捕獲数
45件	334人	頭・羽 イノシシ：441、シカ：344、サル：12、 イタチ(オス)：11、タヌキ：6、アライグマ：1

(2) 獣害防止事業委託

(1)のうち、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会との連携を図り、狩猟期間外の捕獲を伊勢地区猟友会に委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。

平成 27 年度捕獲実績		
イノシシ：392	シカ：317	サル：11
		頭

事業費 1,947,000 円 (市単独事業)

(3) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、平成 20 年 11 月に設立された伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって協議会一般事業、鳥獣被害防止総合対策事業、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業、地域捕獲力強化促進事業、集落ぐるみで取り組むニホンザル等対策支援事業に取り組んだ。

事業名	金額	概要
協議会一般事業	円 1,327,902	原材料支給等
鳥獣被害防止総合対策整備事業	2,037,960	防護柵整備 1 地区 1.26 km
鳥獣被害防止総合対策推進事業	833,655	大型捕獲檻 2 基、猿用箱わな 1 基、小動物用箱わな 6 台、サルモニタリング調査等
鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業	3,468,000	捕獲活動支援
集落ぐるみで取り組むニホンザル等対策支援事業	780,756	追払い用煙火 2,000 本
地域捕獲力強化促進事業	200,022	捕獲檻用エサ等
計	8,648,295	

事業費 8,648,295 円 (県：6,595,960 円 市：2,052,335 円)

(4) 森林再生による野生鳥獣の生息環境創出事業

野生鳥獣の生息しやすい森林づくりのために更新伐を行ったか所の植生の状況及び被害調査を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着工	完工
横輪町 地内	横輪環境保全林植生状況調査業務委託	植生の状況調査 2 か所 野生鳥獣の被害調査 2 か所	円 69,120	27. 9. 16	27. 10. 16
〃	横輪環境保全林植生状況調査施設撤去業務委託	施設撤去 一式	76,658	28. 1. 25	28. 2. 10
計	2 件	—	145,778	—	—

7 鳥獣保護等事業

(1) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロの飼養許可事務を実施し

た。

交付件数 2件（メジロ：更新 2件）

手数料収入 6,800円（手数料 1件 3,400円）

8 みえ森と緑の県民税市町交付金事業

みえ森と緑の県民税交付金を活用として、松くい虫防除（樹幹注入）事業を実施し、暮らしに身近な森林づくりを行った。また、交付金と事業費の差額については今後計画している大規模事業に活用するため、基金として積み立てた。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町茶屋 地内ほか	松くい虫防除（樹幹注入） 業務委託	薬剤樹幹注入 314本	円 3,944,160	28. 1. 6	28. 3. 7

イ 基金

根拠法令	金額
伊勢森林づくり基金条例	1,074,040円

○ 水産振興関係

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、主にアサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業とし、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数は下記のとおりで、生産状況は貝類（アサリ等）が97t、魚類等が159t、くろのりは2,308万枚となっている。

(1) 組合員数

(単位：人)

区分	漁協名	平成27年度			平成26年度			
		正組合員	准組合員	計	正組合員	准組合員	計	
海面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内分)	東大淀	6	86	92	6	98	104
		村松	20	85	105	25	84	109
		有滝	16	93	109	17	97	114
		東豊浜	12	190	202	13	208	221
		大湊	7	16	23	8	16	24
		一色	4	46	50	4	48	52
		神社	0	15	15	0	15	15
		今一色	53	23	76	58	19	77
		江	2	21	23	2	22	24
		松下	6	52	58	6	55	61
	合計	126	627	753	139	662	801	
内水面	宮川漁協	791	871	1662	813	920	1733	
	内伊勢市管内	213	156	369	221	157	378	

(注) 宮川漁協は各年度12月31日現在

(各年度4月1日現在)

(2) 漁業生産状況

(単位: kg (くろのりは千枚))

種 類	平成 27 年度	平成 26 年度
魚 類	129,900	113,925
水産動物類	29,028	28,222
ア サ リ	56,767	175,936
その他の貝類	40,355	13,622
くろのり	23,077	31,566
あおのり	3,459	2,742

(3) 漁船数

(単位: 隻)

地 区 名	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計
東大淀	34	0	0	0	34
村 松	36	3	3	0	42
有 滝	40	1	11	0	52
東豊浜	48	6	3	0	57
大 湊	21	1	0	0	22
一 色	9	2	1	0	12
神 社	1	0	0	0	1
今一色	151	4	1	1	157
江	19	0	0	0	19
松 下	22	0	0	0	22
合 計	381	17	19	1	418

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

(4) 漁業就業者の年齢構成

(単位: 人)

区 分	男	女	計
20 歳未満	0	0	0
20~30 未満	1	0	1
30~40 未満	3	0	3
40~50 未満	6	2	8
50~60 未満	22	16	38
60~70 未満	38	31	69
70 歳以上	98	58	156
計	168	107	275
平均年齢 (歳)	72.6	69.8	71.3

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

2 水産振興事業

(1) 委託関係

本市の水産業の現状と課題を整理し、その課題に対する目標を定めることにより効果的に施策を推進するため、伊勢市水産業振興計画の策定を行った。

委託名	委託概要	金額	着工	完工
伊勢市水産業振興計画 作成支援業務委託	水産業振興計画作成支援 一式	円 399,600	27.10. 6	27.11. 4

(2) 水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立佐八小学校5年生(19名)、市立今一色小学校4・5年生(22人)、早修小学校5年生(11名)に対して、漁業に関する講習を行い、体験実習・施設見学をしてもらうことで、漁村・漁業への意識の高揚を図った。

実施場所	内 容	事業費	開催日
各 小 学 校 二見町今一色 地 内	○講習：「伊勢市の漁業の概要」「のり養殖業」 ○体験実習：「のりすき体験」 ○施設見学：「のり加工施設」「のり検査倉庫」	円 81,134	28. 1.14 28. 1.15 28. 1.18

(3) 干潟保全活動支援事業

水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養のほか、水質浄化などの役割をもつ干潟は、近年、海洋環境の悪化などにより機能が低下しているため、地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。

なお、活動事業費は、水産庁の「水産多面的機能発揮対策事業」による地域協議会を通じて、取組みを支援した。

実施主体	実施場所	内 容	実施期間
伊勢干潟保 全会	二見町 今一色 地先干潟	計画づくり、モニタリング、保全活動 (耕うん、保護区域の設定、稚貝等の沈着促進、 浮遊・堆積物の除去)	27. 5~28. 3
村松浅場保 全会	村松町 地先干潟	計画づくり、モニタリング、保全活動 (稚貝等の沈着促進、機能発揮のための生物移植)	27. 5~28. 3

(4) 各種補助金事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
アサリ養殖振 興事業	伊勢湾漁業 協同組合	二見町今一色地先ほ かにアサリ種苗、ハ マグリ種苗を放流 放流量 アサリ 1.5 t	円 528,574	円 158,500	アサリ資源の増 大と漁家経営の 安定、アサリの浄 化作用による環 境保全を図った。

種苗（クルマエビ等）育成事業	伊勢湾漁業協同組合	クルマエビ 100万尾 クロダイ 6,250尾 ナマコ 4,250尾 各種苗を松阪市黒部町地先～伊勢市二見町松下地先に放流	円 1,601,750	円 166,000	クルマエビ・クロダイ・ナマコの種苗を放流し、資源の増大と漁家経営の安定を図った。
稚鮎等放流事業	宮川漁業協同組合	アユ 3,000kg ウナギ 40kg アマゴ 70kg 各種苗を宮川流域に放流	10,448,600	600,000	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴの資源の増大と生産の向上を図った。
漁業近代化資金利子補給	三重県信用漁業協同組合連合会	東日本大震災で被害を受けた漁業者の資金借りに生じる利子を補給 借入件数 9件	16,392,054	122,940	復旧に必要な資金の借り入れの円滑化と漁業経営の再生を図った。
計	4件	—	28,970,978	1,047,440	—

(5) 栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁業協同組合が取組むクルマエビ、クロダイ、ナマコの種苗放流について、放流適地・放流方法について指導した。

なお、平成17年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設（県営）でのクルマエビ、ヒラメの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上した。

(6) アサリ勉強会

伊勢市の漁業の中心であるアサリ採貝漁業は、昭和60年頃をピークに経営体数、漁獲量とともに減少の一途をたどっており、その状況を打開するために、漁協・漁業者と協働で、平成21年2月に発足した「アサリ勉強会」や漁連・漁協・漁業者・県等と連携する中で、平成22年3月に発足した「三重県あさり協議会」を通じて、資源確保や生産力向上のため、問題・課題の把握からその解決策の検討・実施に向けて取り組んでいる。

○ 漁港管理関係

1 漁港の施設

漁港名	種別	外郭施設		係留施設	
		26年度末現在	27年度末現在	26年度末現在	27年度末現在
村松	第1種	m 1,403	m 1,403	m 487	m 487
江	第1種	1,564	1,564	261	261
松下	第1種	503	503	101	101
豊北	第2種	5,868	5,868	1,825	1,825
計	—	9,338	9,338	2,674	2,674

2 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する施設の修繕及び点検業務を行った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着工	完工
東豊浜町 地先	豊北漁港標識灯保守 点検業務委託	標識灯点検 3基	円 75,600	27.10.6	27.11.4
村松町 地内	村松漁港第2東防波堤 流木撤去業務委託	流木撤去 一式	97,200	27.11.24	27.12.10
東豊浜町 地先	豊北漁港草刈等 業務委託	草刈等 13,000 m ²	490,000	27.12.7	28.2.25
計	3件	—	662,800	—	—

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町 地内	豊北漁港西条スロー プ撤去護岸工事	スロープ撤去 一式	円 91,800	27.5.27	27.6.18
〃	豊北漁港土路照明灯 修繕工事	照明灯修繕 一式	42,120	27.7.7	27.7.24
二見町松 地先	漂流物撤去工事	漂流物撤去 一式	99,360	27.7.15	27.7.24
二見町江 地内	江漁港看板修繕工事	看板修繕工 1基	21,600	27.9.28	27.10.13
有滝町 地内	豊北漁港有滝物揚場 修繕工事	物揚場修繕 一式	1,539,000	27.10.2	27.11.30
〃	豊北漁港有滝物揚場 照明灯修繕工事	照明灯修繕 一式	345,600	27.10.2	28.1.12
東豊浜町 地内	豊北漁港土路照明灯 修繕(その2)工事	照明灯修繕 1基	35,640	27.10.6	27.10.22
〃	豊北漁港土路排水路 修繕工事	排水路修繕 一式	1,276,560	27.10.30	27.12.28
〃	豊北漁港土路管理用 地整地工事	管理用地整地工 一式	86,400	27.12.4	27.12.17
〃	豊北漁港土路護岸修 繕工事	護岸修繕工 一式	972,000	28.1.14	28.2.4
村松町 地内	村松漁港物揚場修繕 工事	舗装工 24.9 m ²	604,800	28.3.3	28.3.24
計	11件	—	5,114,880	—	—

3 水産物供給基盤機能保全事業

漁港施設の経年による老朽化が著しいことから、保全計画を策定する。保全計画書の老朽化機能診断に基づいて、保全工事を行い、効果的・効率的な施設の改良・更新による施設の長寿命化を図る。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有地 滝町先	豊北漁港有滝物揚場 保全工事	物揚場護岸保全工 (係留杭補強工) 12本	円 31,966,920	27. 7. 31	28. 3. 15

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町松下 地内ほか	松下漁港測量業務委託	測量業務 一式	円 2,458,080	27. 7. 24	27. 9. 18
〃	松下漁港機能保全計画書作成業務委託	機能保全計画書作成 一式	8,041,680	27. 7. 24	28. 2. 19
二見町江 地内ほか	江漁港測量業務委託	測量業務 一式	2,396,520	27. 11. 27	28. 2. 4
有地 滝町先	豊北漁港有滝物揚場 設計支援業務委託	設計支援業務 一式	432,000	27. 12. 1	28. 3. 15
二見町江 地内ほか	江漁港機能保全計画書作成業務委託	機能保全計画書作成 一式	2,106,000	27. 12. 25	28. 3. 15
有地 滝町先	豊北漁港有滝物揚場 浮棧橋設計(機能保全計画工法協議資料作成)業務委託	浮棧橋設計業務 一式	1,080,000	28. 1. 12	28. 3. 15
計	6件	—	16,514,280	—	—

○ 漁港建設関係

1 漁業用施設整備事業(防衛)

漁港内の航路において、漁船の安全航行・航行時間の短縮を図り、漁業経営の安定と安全安心な漁業活動を促進する。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
東豊浜町 地 先	豊北漁港航路浚渫工事	-3.0m航路浚渫 20,700 m ³	円 60,526,440	27. 7. 3	27. 10. 22

○ 災害復旧事業

1 農地・農業用施設災害復旧事業

平成 27 年 9 月 8 日～9 日に発生した台風 18 号の豪雨により、排水機場が浸水したため、主エンジン等の分解整備、補機ポンプ類電動機等の取替を行い、排水機場の機能回復を図った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
楠 部 町 地 内	(注) 楠部東排水機場災害復 旧工事設計業務委託	災害復旧工事設計 業務 一式	円 966,600	27. 11. 4	27. 12. 18

(注) 維持課施行

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
楠 部 町 地 内	(注 1) 楠部東排水機場修繕工事	水中ポンプ取替 一式	円 6,056,640	28. 1. 8	28. 3. 18
〃	(注 1) (注 2) 楠部東排水機場災害復旧 工事	主エンジン分解整 備 一式 補機ポンプ類電動 機等取替 一式 非常用発電機分解 整備 一式 電気設備配線取替 一式	21,566,520	28. 2. 5	28. 6. 10
計	2 件	—	27,623,160	—	—

(注 1) 維持課施行

(注 2) 平成 28 年度へ繰越

2 漁港災害復旧事業

平成 27 年 8 月 25 日～26 日に発生した台風 15 号により、漁港海岸へ漂着した流木及びゴミ等を撤去し、海岸保全施設の機能回復を図る。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 手	完 了
有 滝 町 地 内 ほか	豊北漁港海岸ほか災害関 連緊急大規模漂着流木等 処理対策業務委託	流木等処理 505 m ³	円 6,561,000	27. 10. 7	27. 12. 10

○ 他課関係依頼

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

ア 工事関係

所 属	施行場所	工 事 名	工事概要	金 額
福祉総務課	御菌町長屋地内	ハートプラザみその駐車場区画線塗替工事	区画線工 1,320.5m	円 648,000
商工労政課	朝熊町地内	サン・サポート・スクエア伊勢污水管渠布設工事	管布設工 146m	9,839,880
〃	〃	サン・サポート・スクエア伊勢舗装工事	施行延長 203m 舗装工 602m ² 歩車道境界ブロック工 116m 地先境界ブロック工 152m	4,784,400
〃	八日市場町地内	サンライフ伊勢駐車場改修工事	階段工 一式 フェンス工 一式 車止め工 一式	496,800
観光振興課	二見町荘地内	二見浦海水浴場サマービーチハウスフェンス扉設置工事	フェンス扉設置工 3基	1,193,400
〃	中島2丁目地内ほか	第63回伊勢神宮奉納全国花火大会施設工事	準備工 一式 棧敷工 一式 放場施設工 一式 会場周辺安全施設工 一式 場内施設工 一式 付帯工 一式	47,963,880
〃	〃	第63回伊勢神宮奉納全国花火大会電気工事	電話設備 一式 電灯施設 一式 仮設工事 一式	10,115,280
〃	二見町荘地内	観光客避難場所誘導看板設置工事	避難誘導看板設置工 3か所	902,880
〃	吹上1丁目地内ほか	伊勢市駅前広場ほかイルミネーション設置工事	イルミネーション設置 2か所	745,200
社会教育課	小俣町本町地内	小俣農村環境改善センター駐車場区画整備工事	区画線工 99.7m	162,000
計	10件	—	—	76,851,720

イ 委託関係

所 属	施行場所	委 託 名	委託概要	金 額
防災施設整備課	磯町地内	(注) 磯町津波避難施設(マウンド)設計業務委託	造成実施(詳細)設計 一式 擁壁補強土予備設計・擁壁構造比較検討 1か所 重力式擁壁設計 一式 既設堤体の解析 一式 付帯建築物設計 一式 各種申請書作成 一式	円 11,722,320

(注) 平成26年度から繰越

観 光 振 興 課

観光庁が平成 28 年 5 月に発表した観光白書によると、平成 27 年の国内旅行者数は、日帰り旅行が延べ 2 億 9,705 万人（対前年 0.3%減）、宿泊旅行が延べ 3 億 1,673 万人（対前年 6.5%増）となりました。一方訪日外国人旅行者数は 1,974 万人（対前年 47.1%増）となり、国が統計を取り始めた昭和 39 年以降最大の伸び率を記録しました。

政府は東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成 32 年を目標年とし、訪日外国人観光客数 3,000 万人を目指し、インバウンド施策を強力に推し進めました。インバウンドを地方の活性化に役立てようという地域も増え続けており、旅行者ニーズの多様化と合わせ、新しい旅の形が続々と生まれてきました。（平成 28 年 3 月、政府は目標訪日外国人観光客数を 4,000 万人に上方修正した。）

そのような動きの中、伊勢市では、平成 27 年の両宮参拝者数は約 838 万人で、遷宮年から 2 年経ったにも関わらず、前回遷宮年（第 61 回神宮式年遷宮の斎行年）である平成 5 年とほぼ同じ数値を維持しました。

遷宮年直前である平成 24 年と比較すると、両宮合計では約 35.1 万人（4.4%）増加となっています。その内訳は内宮が約 2.4 万人（0.4%）減少しているのに比べ、外宮は約 37.5 万人（14.9%）増加しており、外宮や周辺地域の魅力が多くの人々に認知され始めたことが分かります。一方インバウンドについては、平成 27 年の両宮外国人参拝者数が約 9.8 万人で、平成 24 年と比較し 5.8 万人（144.2%）増加となり、まだまだ数は少ないものの高い増加率となりました。

平成 27 年度の事業については「伊勢市観光振興基本計画」に基づき、引き続き両宮参拝を推進すると共に、国中で盛り上がっているインバウンドの他「バリアフリー観光」「スポーツ観光」など対象の裾野を広げながら、単なる観光客の数ではなく、消費額の向上や満足度向上といった点も念頭に置き、実施しました。

「遷宮後」と言われるこの数年間は、伊勢市にとって非常に難しい時期となります。しかし幸いなことに、平成 28 年 5 月の「伊勢志摩サミット」、同年 11 月の伊勢志摩国立公園指定 70 周年記念イベント、平成 29 年 4～5 月の「全国菓子大博覧会・三重」など、伊勢志摩には大きな話題となる事柄が控えています。観光振興課・観光誘客課においては、次期遷宮年までの観光客数の減少がより緩やかになるよう、これらの事柄を最大限活かしていきたいと考えています。

※別宮の御遷宮や諸祭の時期など、遷宮の期間については一概に言えないところがありますが、観光振興課・観光誘客課の資料中では、第 62 回神宮式年遷宮における外宮内宮の遷御斎行年の平成 25 年を「遷宮年」としてしています。

○ 観光施設管理運営事業

1 海水浴場管理運営事業

明治 15 年に「日本第一号の公設海水浴場」として始まった二見浦海水浴場の運営を平成 27 年 7 月 11 日～8 月 31 日までの間行った。

海水浴場の管理運営については、（公社）伊勢市観光協会へ委託し駐車場管理、監視・巡視・看護等を行った。

また、海水浴場開設前には、二見町旅館組合等の観光関係団体、小中学校、地域住民のご協力により海岸清掃を実施していただいた。

海水浴客数延べ 11,430 人 駐車台数 1,038 台

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町荘 地 内	(注) 二見浦海水浴場サマ ービーチハウスフェ ンス扉設置工事	フェンス扉設置工 3 基	円 1,193,400	27. 4. 20	27. 6. 18

(注) 農林水産課施行

○ もてなし心醸成事業関係

1 バリアフリー観光向上事業

日本全体が高齢化し人口減少社会へ向かう中、高齢者や障がいを持つ方に観光旅行を楽しんでいただき国内からの旅行者数を増加させることを目的に、平成 23 年度から受入れ力強化のための取り組みを行っている。

(1) 車椅子参拝サポート事業化負担金

平成 27 年度は、（公社）伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、皇學館大学、伊勢おはらい町会議、NPO 法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターとともに、伊勢神宮内宮の車いす参拝を継続してサポートできる仕組みを確立するために平成 27 年 5 月 25 日に「伊勢おもてなしヘルパー推進会議」を設立したことから、運営にかかる経費の負担を行った。

(2) 情報発信事業負担金

障がいといってもその状態は様々で、その人の身体の状態によってバリアとなる場所や項目は異なります。障がいのある観光客の方に町歩きを楽しんでいただけるよう平成 26 年度に作成したウェブサイト「伊勢志摩バリアフリー・マイマップ」の店舗情報を更新するとともに、快適に伊勢市内のバリアフリー情報を得られるよう、NPO 法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと協働でシステムの改修を行った。

(3) 手話ガイド団体との連携

高齢・障がい福祉課と共同で支援している「いせてらす手話ガイド」について、既存の各種案内ガイド団体に進捗状況を報告し、将来的な連携を深める下地作りを行った。

また手話ガイド団体代表者とともに観光関連施設を訪問し、「聴覚障がい者に施設を楽しんでもらうには」というテーマで管理担当者と意見交換を行った。

2 おもてなし推進事業

(1) おかげの国フォーラム事業

地域愛を醸成しおもてなし力向上につなげるため、おかげ参り推進会議（事務局：伊勢商工会議所）と協働でフォーラムを実施した。

【第1回】平成27年9月5日開催（参加者135名）「伊勢の斎王の雅な生活を垣間みる」

【第2回】平成28年2月7日開催（参加者130名）「お伊勢参りの街道と食」

(2) おもてなし多言語化促進事業

伊勢市を訪れる外国人観光客が快適に過ごせるよう、市内飲食施設、宿泊施設等がリーフレット、メニュー、ホームページ等を日本語と英語等多言語化した場合、補助金を交付した。

（平成27年度） 交付実績 2,941,000円 17業者19店舗

(3) 伊勢市観光協会青年部事業

伊勢市観光協会青年部と協働で、以下の事業を行った。

・平成“食”のおかげ参り事業

伊勢市及びその周辺の食文化の調査・研究等を行い、下記のマップを作成した。

マップ（海鮮丼・朝めし・洋スイーツ）の作成 1,000部×3種類

・フォトサイクル事業

エコツーリズムへの意識向上、市内の既存観光スポットの再発見、レンタサイクルの利用促進、滞在時間の延長による宿泊の増加を目的としてイベント等を実施した。

サイクルイベントの実施 開催日時：平成28年3月13日（日） 参加者数：70名

・マスコットキャラクター事業

（公社）伊勢市観光協会のマスコットキャラクターの着ぐるみを活用し、伊勢のPRイベント等に参加することにより幅広い客層にPR活動を実施した。

(4) 外宮参道行灯改修事業

外宮参道に「灯りを通じた交流と賑わい」を創出することを目的に外宮参道発展会と協働で行灯38基を整備した。この行灯は、伊勢に縁のある和紙デザイナー 堀木 エリコ氏の協力による製作で、内部には日の丸などがデザインされた伊勢和紙が挿入されており、これを差し替えることにより「灯りを通じた発信」を行えるよう、工夫されている。

(5) 「伊勢っ子」育て事業

観光客とのふれあいを通じて、子どもたちに伊勢の魅力を知ってもらうための事業で、平成27年度から開始した。公募により集まった市内小学校5、6年生の伊勢っ子23名が、外宮周辺、内宮周辺、二見の3か所で観光客のお出迎えを行った。また、皇學館大学の有償ボランティアに関わっていただき、ともに企画実施を行ったほか、地域のまちづくり団体等にご協力いただいた。

(6) 観光人材育成事業

（公社）伊勢市観光協会と協働で、観光の現場で活躍する方々を対象に研修会を開催した。

開催日	内 容	会 場	参加者	講 師
27. 9. 8	初任者向け接遇 研修	いせトピア	73 名	(株) おもてなし道 代表取締役 山田千穂子 氏
28. 2. 29	インバウンドと バリアフリーの 研修	伊勢商工会議所	40 名	TOTO(株) 名古屋支社 市場開発部 プレゼンテーショングループ 杉岡加奈子 氏 NPO 法人伊勢志摩バリアフリ ーツアーセンター 中村千枝 氏

外国人観光客の受入れに関する不安を取り除くため、商工労政課、(公社)伊勢市観光協会及び伊勢商工会議所と協働で、インバウンドの基礎を学ぶ研修を開催した。

開催日	内 容	会 場	参加者	講 師
27. 11. 12	インバウンドの 基礎を学ぶ研修	伊勢市観光文化会館	82 名	三重県海外誘客課 課長補佐 生川哲也 氏 星出館 女将 星出洋江 氏 有限会社 兵吉屋 代表取締役 野村一弘 氏

3 案内ガイド連携事業

案内人の質の向上・情報共有・一体感の醸成を目的とした市内の観光案内ガイド団体の連絡協議会として立ち上げた「伊勢たびナビの会」に事務局として参画し、運営を行った。平成 27 年度は 13 回の会議を開催し、伊勢市内の周遊マップを作成。市内の案内ガイドを利用した観光客を中心に配布した。

4 災害に強い観光地づくり事業

発生が危惧されている南海トラフの巨大地震等の災害から観光客の生命を守るために緊急時に避難場所まで誘導する環境を整備し、おもてなしと安心・安全の観光地となるために下記の整備を行った。

工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町庄 地 内	(注) 観光客避難場所誘導 看板設置工事	避難誘導看板設置工 3 か所	円 902,880	27. 9. 1	27. 10. 30

(注) 農林水産課施行

5 外国人観光客受入強化事業

今後増加が予想される外国人観光客に対する受け入れ環境を強化する取組みを行った。

(1) アンケートの実施

(公社)伊勢市観光協会会員および伊勢商工会議所の観光関連部会会員を対象に、外国人観光客受け入れに関するアンケートを実施した。

アンケート実施期間 平成27年6月19日～平成27年6月30日

実施対象者のべ数 714 会員

回答者数 114 名

(2) 観光案内所の受け入れ体制強化

英語対応可能な案内所常駐職員1名と、主任1名を増員し、案内所間の連携を進め、よりスムーズな対応ができる体制を整えた。また、職員が積極的に各種インバウンド研修を受講し、その研修結果を職員間で共有できるようにする場を設定した。

管理運營業務委託変更契約による増額分 2,035,045 円

(変更契約期日 平成27年12月17日)

(注)当初契約額24,335,250円は、観光案内所管理運営経費に計上。

(契約期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(3) 観光フリーWi-Fiの設置

伊勢志摩サミットを前に、伊勢を訪れるメディア関係者や観光客の利便性を高めるため、市内5か所の観光案内所、手荷物預かり所(伊勢市情報発信センター 伊勢広報事務所)、および市役所本庁舎に観光フリーWi-Fi「Summit Wi-Fi Ise」を整備した。

アクセスポイント(AP)設置基数 8基

運用開始日:平成28年4月1日

(注)観光案内所および手荷物預かり所のアクセスポイント(AP)設置にかかる回線整備費用を観光振興課から支出。その他費用については企画調整課配当予算からサミット関連事業として支出。

(4) 7カ国8言語の案内マップ作成

観光案内の現場で使いやすい物とするため、さまざまな外国人観光客に対応している市内観光案内所職員の意見を反映し、伊勢市内の主要観光施設、および伊勢鳥羽志摩や鉄道・主要道路の位置関係が把握できる案内マップを作成した。

マップは、伊勢への来訪が多い国の他、伊勢志摩サミット開催前後での使用を想定し、G7に入っている国の主要言語を選び作成した。

言語 英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語
イタリア語

部数 各言語2,000部

配布場所 市内5か所の観光案内所、手荷物預かり所、伊勢市情報発信センター伊勢広報事務所

伊勢志摩サミットインフォメーション(平成28年度設置予定)など

○ 観光一般事業関係

1 観光案内所管理運営経費

(1) 観光案内所及び手荷物預かり所の運営

伊勢市駅、宇治山田駅、二見浦、外宮前、宇治浦田の各観光案内所における運営業務を（公社）伊勢市観光協会に委託して実施した。また、伊勢市駅、宇治山田駅、外宮前観光案内所は、県下唯一の外国人観光案内所カテゴリー2（注）に認定されており、外国人旅行者に対しても積極的な観光案内を行っている。

増加する外国人観光客に対応するため、平成27年12月17日に英語対応可能な職員を2名（常駐職員1名、主任1名）を増員した。

（注）外国人観光案内所カテゴリー2：JNTO（日本政府観光局）認定の案内所。英語対応可能なスタッフが常駐し、広域の案内を提供できることが条件。

管理運営業務委託 26,370,295円（契約期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日）

うち2,035,045円は、英語対応可能な職員2名の増員分（平成27年12月17日～平成28年3月31日分）および研修受講費として、外国人観光客受入強化事業に計上。

<観光案内所の利用状況（単位：件）>

伊勢市駅観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	5,204	7,109	5,049	6,627	8,538	9,590	8,632	7,319	6,219	7,444	6,443	7,984	86,158
うち外国人	361	242	223	308	393	296	398	342	343	255	279	259	3,699

宇治山田駅観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	2,197	2,601	1,757	2,339	2,582	2,968	2,748	2,569	2,538	3,265	2,162	2,819	30,545
うち外国人	87	54	85	90	99	57	81	79	72	62	87	85	938

二見浦観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	556	752	530	669	742	815	796	645	608	823	711	677	8,324
うち外国人	30	33	26	20	21	23	36	29	23	22	18	23	304

外宮前観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	5,249	7,227	4,195	5,534	6,728	6,744	7,182	6,476	6,458	8,507	6,358	7,114	77,772
うち外国人	101	98	93	105	115	94	139	71	125	140	120	137	1,338

宇治浦田観光案内所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
窓口案内	4,501	4,621	3,293	4,402	5,641	3,156	3,619	3,751	2,390	4,487	4,034	4,385	48,280
うち外国人	19	25	30	43	59	15	28	15	23	42	43	63	405

また、伊勢市駅手荷物預かり所において、荷物の一時預かりや宿泊施設等への配送サービスを行った。

<伊勢市駅手荷物預かり所の取扱い個数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
荷物預かり	1,088	2,873	814	1,513	2,167	3,672	2,280	2,554	1,288	1,665	1,731	2,643	24,288
宿泊施設配送	1,155	2,014	1,186	1,486	2,294	2,450	2,304	2,345	1,212	1,318	1,667	2,466	21,897
全国発送	35	55	33	69	59	84	59	74	48	55	47	72	690
計	2,278	4,942	2,033	3,068	4,520	6,206	4,643	4,973	2,548	3,038	3,445	5,181	46,875

(2) 清掃業務

観光案内所は観光客を最初に迎える場所であることから、美化に務める必要があるため、トイレの日次清掃（宇治浦田観光案内所と伊勢市駅手荷物預かり所）及び年2回の定期清掃を行った。

清掃業務委託 3,240,000円（契約期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(3) デジタルサイネージ

市内観光案内所等にデジタルサイネージを設置し、市内各所の観光案内を映像で発信した。

保守業務委託 259,200円（契約期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(4) 車いすの貸出

伊勢市駅観光案内所と宇治浦田観光案内所で車いすの無料貸出を行った。

<車いす貸出の利用状況>

	伊勢市駅観光案内所	宇治浦田観光案内所
保有台数	3台	6台
貸出合計台数	147台	774台

(5) レンタサイクル

伊勢市駅手荷物預かり所で自転車の貸し出しを行った。

<自転車貸出の利用状況>

	伊勢市駅手荷物預かり所
保有台数	30台
貸出合計台数	2,088台

2 (公社)伊勢市観光協会への活動支援

(公社)伊勢市観光協会は同業者組合の枠を超え、広く市内観光産業活性化のために活動している。公益社団法人という位置づけから、公平性を保ちつつ行政より柔軟な動きが可能であるため、変化の激しい観光分野の事業実施に不可欠な存在となっている。当課では数年かけて支援の形を整理し、平成27年4月1日に(公社)伊勢市観光協会との覚書を改定した。現在は覚書に基づき、財政基盤安定化を目的とする負担金は事務局人件費の40%とし、市との協働事業は過去の経過と自主性を考慮して負担率を決定した。

3 伊勢市駅前ほかイルミネーション設置工事

JR伊勢市駅前広場、近鉄宇治山田駅前広場の樹木にLEDイルミネーションを設置し、駅前の賑わいの創出、観光客受入のための光の演出を行った。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
吹上1丁目 地内ほか	(注) 伊勢市駅前ほかイルミネーション設置工事	イルミネーション 設置 2か所	円 745,200	27.11.13	28.2.10

(注) 農林水産課施行

4 スポーツ関連行事もてなし事業

(1) 秩父宮賜杯第47回全日本大学駅伝対校選手権大会への応援協力

熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前の8区間106.8kmを結ぶ大会が、平成27年11月1日(日)に開催され、市内の太鼓団体が沿道で選手を歓迎応援するなど選手及び観客をもてなした。

(2) 伊勢志摩サミット開催記念第9回美し国三重市町対抗駅伝への応援協力

県庁前から三重交通Gスポーツの杜伊勢までの10区間41.695kmを結ぶ大会が、平成28年2月21日(日)に開催され、市内沿道に歓迎・応援用のぼりを設置したほか、市内の太鼓団体と伊勢市女性団体連絡協議会が沿道で選手を歓迎応援するなど選手及び観客をもてなした。

○ 観光振興基本計画推進事業

平成25年度に策定した観光振興基本計画の推進・進行管理を図るため、伊勢市を訪れる観光客の実態を把握、分析し、市内観光関連組織・団体等の代表者等からなる会議を開催し、計画の検証を行った。

1 伊勢市観光客実態調査

観光客の旅行目的、滞在種別(日帰り・宿泊)、来訪手段、旅行費用、満足度など、伊勢市を訪れる観光客の行動実態を明らかにするため、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準」に沿った形で、伊勢を訪れている観光客を対象とした対面式の聞き取り調査を実施した。

委託先：(株) 地域計画建築研究所 大阪事務所

委託金額：4,320,000 円

委託期間：平成 27 年 2 月 18 日～平成 28 年 3 月 25 日

調査地点：内宮周辺、外宮周辺、二見、河崎の市内観光地域 4 か所

調査実施日：平成 27 年 4 月 25 日、7 月 25 日（追加調査 8 月 29 日）、10 月 24 日（追加調査 10 月 25 日）、12 月 19 日の計 4 回実施。

2 伊勢市観光振興基本計画に基づく観光振興のための意見交換会

伊勢市観光振興基本計画策定推進会議委員のうち、市内観光関連組織・団体等の代表者等伊勢市内で広く観光全般に携わっている方に参加を呼びかけ、意見交換会を 2 回開催し、1 の調査結果や伊勢市観光統計、三重県の観光客実態調査結果等に基づき、伊勢市観光振興基本計画の検証を行った。また、現状の課題に対する意見交換も行った。

3 観光客実態調査説明会

市内の観光事業者を対象に、本市の観光客の実態及び市の取り組みについて知っていただく説明会を実施した。

日 時 平成 27 年 12 月 15 日（火）

名 称 「観光客実態調査から見る伊勢市の現状・課題と市の取り組み」

講 師 (株) 地域計画建築研究所 主任 江藤 慎介 氏

(株) リクルートライフスタイル

じゃらんリサーチセンター

グループマネージャー 木島 達也 氏

研究員 山本 祐司 氏

参加人数 昼の部 33 名、夜の部 26 名 計 59 名

○ 旅客受入推進事業

1 旅客受入基盤整備事業

第 62 回神宮式年遷宮後の課題となっている観光客の市内周遊の向上、公共交通機関の利用促進などの課題を解消するため、三重交通株式会社と協働で市内観光周遊バス「参宮バス」（外宮～夫婦岩ルート、スカイラインルート）の運行を行った。

なお、平成 27 年度は両ルートともに経路、ダイヤの改正を行い利便性を高める見直しを行った。

平成 27 年度の利用状況

<外宮～夫婦岩ルート>

単位：人

月	宇治山田・松尾観音寺発	民話の駅蘇民発
4	599	807
5	903	1,348
6	510	826
7	683	1,026
8	865	1,293
9	1,003	1,478
10	921	1,277
11	830	1,244
12	682	869
1	889	1,451
2	765	1,126
3	940	1,411
計	9,590	14,156

<スカイラインルート>

単位：人

月	山上公苑発	近鉄五十鈴川駅発
4	93	74
5	311	81
6	71	37
7	123	74
8	114	62
9	278	94
10	153	86
11	95	68
12	153	106
1	354	166
2	87	52
3	112	59
計	1,944	959

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 外宮周辺魅力創出・発信事業

内宮周辺に集中している観光客を、外宮周辺の集客事業を行うことによって分散し、さらに市内周遊につなげることで、また、伊勢の夜の飲食店の魅力を高め発信することにより、滞在時間の延長及び伊勢への宿泊を促進し、観光消費額を向上させることを目的に、伊勢商工会議所と協働で各種事業を行った。

(1) 外宮誘客事業

外宮・内宮間で運行する三重交通の路線バス 10 台に屋根看板、車内広告を設置し、外宮への誘客を行った。

また、外宮誘導チラシを作成し配布を行った。

(2) 外宮周辺資源活用事業

外宮周辺の魅力を紹介したまち歩きパンフレットの作成と、そのパンフレットを観光案内所・市内主要施設等で配布した。

(3) 朝市・参宮の木札事業の広報並びに組織育成支援事業

市民ボランティアとの連携による参宮木札配布とアンケート調査実施、木札施行店舗の会の運営支援。また、朝市の集合折込チラシ等への広告掲載を行った。

(4) 夜の魅力創出事業

伊勢商工会議所のほか、(公社)伊勢市観光協会とも連携。

ア よいまちバル事業

外宮前バス停横広場から半径 450m に立地する、通常夜間営業している洋食店やバー等の飲食店を参加対象店舗とし、スペインの立ち飲み食堂「バル」にヒントを得た立ち飲みイベント「YOIMACHI BAR(よいまちバル)」を実施した。

時間設定の工夫やスタンプラリー等のしくみにより店舗への周遊を促進した。

イ 泊食連携促進事業

平成 26 年度に作成した宿泊施設から歩いて行ける、晩御飯の食べられる飲食店情報マップの情報を更新し、配布。また、伊勢商工会議所のホームページ等へも掲載した。

地図エリアにある条件に合う店舗は(公社)伊勢市観光協会会員や伊勢商工会議所会員に限らず全て声かけし、許可を経て掲載するため、マップ作成団体の会員に限ることなくお客様の店舗選択の幅を広げることができるマップとなっている。

2 朝熊ヶ岳参詣マップ事業

「お伊勢参りと融合したネイチャーツーリズム」という、新しい分野を開拓していくことを目的として「朝熊ヶ岳参詣マップ」を作成し、新たな観光資源としてその魅力を広めた。

3 外宮前名物・御饌井(みけどん)事業

参加店 16 店舗と企画部会 6 名からなる組織「外宮前名物・御饌井の会」で、外宮のお膝元で地元食材を使った井を開発・販売し、食への感謝を発信した。

市の事業としては平成 27 年度を最終年度とし、平成 28 年度以降は「外宮前名物・御饌井の会」へ事務局を引き継いだ。会としては民間事業者へ事務局機能を委任する意向であったことから、事務の省力化を図りながら引継ぎを行った。

○ 観光客受入環境創出事業

1 第 8 回美し国三重「寄せ植え」コンテスト【平成 27 年 6 月 12 日（金）～14 日（日）】

外宮前バス停横広場で三重県種苗園芸協会との共催により、第 8 回美し国三重「寄せ植え」コンテストを開催した。三重県内外から 185 点の作品が、コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門、フレーム部門、マスター&プロ部門に出品され、約 16,000 人が来場した。

2 （公社）伊勢市観光協会との協働事業

（公社）伊勢市観光協会と協働で以下の事業を行った。

・春まつり

日本の桜 100 選にも選ばれる宮川堤の桜の満開時期にあわせて開催した。

・観月茶会

季節ごとの伊勢の行事を観光客の方に堪能してもらう秋の行事を行った。

・第 11 回日本観光交流・伊勢会議及び第 48 回観光祈願祭

国の観光関係者が伊勢に集い、観光の意義と重要性を認識し、健全な観光の推進を図る行事を行った。

・越年行事

全国から見える伊勢神宮年越し参り等のお客様に対し、餅を配布して温かくおもてなしを行う行事を行った。

○ 観光行事振興事業関係

第 63 回伊勢神宮奉納全国花火大会 ～伊勢市制施行 10 周年記念～

【平成 27 年 9 月 12 日（土）】

（注）平成 27 年 7 月 18 日（土）に開催予定であったが台風 11 号の影響により延期

伊勢神宮奉納全国花火大会委員会へ参画し、事務局として準備等を行い、以下のとおり大会を実施した。

本大会は、北は秋田県から南は鹿児島県の全国各地から選抜された花火師が参加する競技花火大会で、打上花火の部 45 組、スターマインの部 10 組の 2 部門で競われ、競技大会ならではの格調、質ともに全国トップレベルの花火玉約 10,000 発が打ち上げられ、約 23 万人が観覧した。オープニングスターマインのほか、大会中盤に伊勢市制施行 10 周年を記念して地元花火師による大会記念スターマインの放揚と前年度優勝者による大会提供スターマインを打ち上げた。また、グランドフィナーレでは、神宮式年遷宮イメージソングに合わせてスターマインを打ち上げた。

今回もNPO団体の協力により、大会が延期したのにも関わらず 90 名のボランティアの参加があり、ごみの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行い環境に配慮した大会運営に努めた。

1 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
中島2丁目 地内ほか	(注) 第63回伊勢神宮 奉納全国花火大会 施設工事	準備工 一式 放揚施設工 一式 栈敷工 一式 会場周辺安全施設工 一式 場内施設工 一式 付帯工 一式	円 47,963,880	27. 5.18	27.10. 2
〃	(注) 第63回伊勢神宮 奉納全国花火大会 電気工事	電話設備 一式 電灯設備 一式 仮設工事 一式	10,115,280	27. 5.18	27. 9.25
計	2件	—	58,079,160	—	—

(注) 農林水産課施行

○ 伝統的観光行事振興事業

伊勢のまつりブランド化推進事業【平成27年10月14日(水)、15日(木)】

日本全国の有名な祭り21団体、約600名による響演「祭のまつり」が10月15日(木)に外宮周辺にて開催され、前日の14日(水)の三重県営サンアリーナにおける前夜祭もあわせて、多数の観客が訪れた。

観客数延べ 98,000人(10月14日、15日)

○ 民俗伝統行事推進事業

第63回神宮式年遷宮に向けて、御遷宮対策委員会にかわり、伊勢御遷宮委員会を平成27年4月1日に設立し、平成27年度は、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」であり、また、市の「無形民俗文化財」として指定される「お木曳行事」、「お白石持行事」の保存継承及び神宮を核とした伊勢の情報発信を行うため、誘客PR(参宮ガイドブック「JAPANESE」)、市内リーフレット、ホームページ運営管理、七里の渡し・伊勢国一の鳥居建て替え奉祝祭(お木曳行事)運営支援、別宮お白石持行事記録DVD作成、基本構想策定などの事業を実施した。

初穂曳(伊勢神宮奉仕会主催)は10月15日(木)に外宮領陸曳、16日(金)に内宮領川曳が実施された。

また、伊勢市民俗伝統行事継承事業基金条例に基づき、「お木曳行事」「お白石持行事」の円滑な実施と保存継承等を目的に、商工会議所、観光協会と共に基金の積み立てを開始した。

○ 集客誘致大会開催事業

2015 中日三重お伊勢さんマラソン【平成 27 年 12 月 5 日（土）～6 日（日）】

平成 30 年開催の全国高等学校総合体育大会、平成 33 年開催の国民体育大会に向けた三重交通 G スポーツの杜伊勢（三重県営総合競技場）陸上競技場の改修工事に伴い、今大会からメイン会場を三重県営サンアリーナに変更し、コースの新設を含め大会自体を大きくリニューアルし、実施した。

1 日目にウォークの部、2 日目にランニングの部（一般の部、公認の部）として、ハーフマラソン・10km（公認の部のみ）・5km・3km（公認の部のみ）の4種目を開催した。参加申込者数は両部門あわせて 12,184 人、当日参加者数は 10,949 人となった。

参加者への「おもてなし」として、5 日（土）に二見プラザ（現在：伊勢夫婦岩ショッピングプラザ）にてウェルカムパーティを開催したほか、大会期間中に会場内の物産展等で使用できる「お伊勢さんチケット」を作成し、参加者に配布した。また、市内入浴施設の協力のもと参加者への入浴案内や市内の太鼓団体の協力を得て沿道応援を実施した。

・参加申込者数（詳細）

【一般の部】

（単位：人）

年代別	ランニング				ウォーク		計
	5km		ハーフ		男	女	
	男	女	男	女			
10代未満	—	—	—	—	76	75	151
10代	6	2	16	1	78	87	190
20代	261	233	489	263	71	110	1,427
30代	345	261	1,004	400	102	176	2,288
40代	382	281	1,185	556	211	378	2,993
50代	232	221	965	350	206	567	2,541
60代	170	87	402	68	205	417	1,349
70代	69	25	70	6	143	223	536
80代以上	21	4	7	0	32	27	91
計	1,486	1,114	4,138	1,644	1,124	2,060	11,566
	2,600		5,782		3,184		
	8,382						

（注）ランニングの部の 10 代は大会当日 18 歳以上（高校生除く）の方

【公認の部】

(単位：人)

年代別	3km		5km		10km		ハーフ		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
中学生	—	140	206	—	—	—	—	—	346
高校生	—	—	—	41	108	—	—	—	149
一般	—	—	—	—	—	—	93	30	123
計	140		247		108		123		618

・都道府県別参加申込者数

【一般の部（ランニングの部とウォークの部の合計）】

(単位：人)

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	2	千葉県	38	岐阜県	235	和歌山県	15	高知県	8
青森県	1	東京都	153	静岡県	75	鳥取県	1	福岡県	15
宮城県	7	神奈川県	66	愛知県	2,411	島根県	3	長崎県	2
山形県	3	新潟県	7	三重県	7,790	岡山県	12	熊本県	1
福島県	6	富山県	25	滋賀県	66	広島県	9	宮崎県	2
茨城県	19	石川県	16	京都府	65	山口県	2	沖縄県	1
栃木県	6	福井県	10	大阪府	262	徳島県	11		
群馬県	1	山梨県	2	兵庫県	91	香川県	3	計	11,566
埼玉県	33	長野県	26	奈良県	61	愛媛県	4	内伊勢市	2,903

・最老年齢者 男性：92歳 女性：89歳

・連続出場者 5回連続 649人、10回連続 47人、15回連続 44人、
20回連続 22人、25回連続 16人、30回連続 14人

○ 国民体育大会開催事業

平成30年(2018)の全国高等学校総合体育大会(以下「高校総体」)及び平成33年(2021)に三重県で開催予定の「第76回国民体育大会(三重とこわか国体)」(以下「国体」)の総合開閉会式や競技を伊勢市で開催するための準備として、開催先進市や平成27年度開催市町を視察した。

また、伊勢市の国体開催競技について、三重県及び県競技団体とともに中央競技団体の正規視察を受け、競技施設や運営等の準備状況など開催に向けた協議を行った。

1 先催県視察の概要

日程	種別	視察先	視察内容	人数	同行者
27. 6. 16 (火)	国体	岐阜市	事務体制や予算等の行政視察	2名	
27. 7. 29 (水) ～27. 7. 30 (木)	高校総体	和歌山市	競技会場設営等現地視察 (陸上競技)	2名	
27. 8. 5 (水) ～27. 8. 6 (木)	高校総体	和歌山市 大阪市 神戸市	競技会場設営等現地視察 (剣道・バレーボール男子・ サッカー)	3名	
27. 9. 26 (土) ～27. 9. 28 (月)	国体	和歌山市 白浜町 串本町 新宮市	競技会場設営等現地視察 (開会式・相撲・野球・卓球・ サッカー女子・高校野球(硬式))	5名	スポーツ課
27. 10. 3 (土) ～27. 10. 4 (日)	国体	和歌山市 岩出市	おもてなし等現地視察 (陸上競技・バドミントン)	5名	会議所 観光協会
27. 10. 3 (土) ～27. 10. 6 (火)	国体	和歌山市 岩出市	競技会場設営等現地視察 (陸上競技・バドミントン・閉会式)	4名	
27. 10. 24 (土) ～27. 10. 25 (日)	全国障害者 スポーツ 大会	和歌山市	競技会場現地視察	4名	高齢・障が い福祉課
28. 1. 19 (火) ～28. 1. 20 (水)	高校総体 国体	岡山市 和歌山市	事務体制や予算等の行政視察	2名	
28. 2. 9 (火) ～28. 2. 10 (水)	高校総体 国体	天童市 北上市	事務体制や予算等の行政視察	2名	

2 中央正規視察の概要

日程	種目	中央競技団体名	会場
27. 11. 4 (水) ～27. 11. 5 (木)	サッカー女子	公益財団法人 日本サッカー協会	東員町スポーツ公園陸上競技場 伊勢フットボールヴィレッジ
27. 11. 10 (火)	バドミントン	公益財団法人 日本バドミントン協会	三重県営サンアリーナ
27. 11. 12 (木)	高校野球 (硬式)	公益財団法人 日本高等学校野球連盟	伊勢市倉田山公園野球場
27. 11. 18 (水)	卓球	公益財団法人 日本卓球協会	三重県営サンアリーナ
27. 12. 21 (月)	陸上競技	公益財団法人 日本陸上競技連盟	三重交通Gスポーツの杜伊勢 陸上競技場
28. 2. 5 (金)	相撲	公益財団法人 日本相撲連盟	三重交通Gスポーツの杜伊勢 体育館

3 伊勢市での開催競技と近年の開催状況

ア. 全国高等学校総合体育大会（平成 30 年）

開催競技	会場名	日程	備考
総合開会式	三重県営サンアリーナ	30. 8. 1 (水)	
バレーボール男子	三重県営サンアリーナ 三重交通Gスポーツの杜伊勢 体育館	30. 7.26 (木) ～30. 7.30 (月)	
陸上競技	三重交通Gスポーツの杜伊勢 陸上競技場	30. 8. 2 (木) ～30. 8. 6 (月)	
サッカー男子	伊勢フットボールヴィレッジ	30. 8. 7 (火) ～30. 8. 9 (木) (伊勢市での開催日程)	(注)4 市共催
剣道	三重県営サンアリーナ	30. 8. 9 (木) ～30. 8.12 (日)	

(注) サッカー男子は、四日市市・鈴鹿市・伊賀市と共同開催

【参考】近年の開催状況

年度	26	27	28	29	30
ブロック	南関東	近畿	中国	南東北	東海
主会場県	東京都	和歌山県	岡山県	山形県	三重県

イ. 国民体育大会（平成 33 年）

開催競技	会場名	備考
総合開会式	三重交通Gスポーツの杜伊勢 陸上競技場	
陸上競技	三重交通Gスポーツの杜伊勢 陸上競技場	
相撲	三重交通Gスポーツの杜伊勢 体育館	
バドミントン	三重県営サンアリーナ	
卓球	三重県営サンアリーナ	
サッカー女子	伊勢フットボールヴィレッジ	伊賀市と共催
高校野球（硬式）	伊勢市倉田山公園野球場	津市と共催

【参考】近年の開催状況

年度	27	28	29	30	31	32	33
開催県	和歌山県	岩手県	愛媛県	福井県	茨城県	鹿児島県	三重県

観 光 誘 客 課

○ もてなし心醸成事業

1 おもてなし推進事業

伊勢市の観光PRキャラクターである「はなてらすちゃん」を活用するため、イラストやロゴを様々な商品、印刷物等に利用できるよう、キャラクター使用の申請を受け付けました。また、着ぐるみを活用したPRについては、伊勢市が主催するイベント等にて使用するとともに、市役所内の他課が主催するイベントや、民間が主催する各種イベントへの着ぐるみの貸し出しを行い、広く活用を図りました。

平成 27 年度活動回数・・・88 回（うち貸出 55 回）

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 観光情報発信事業

(1) 広告宣伝による誘客活動

新聞や雑誌等の広告媒体を活用し情報発信を行いました。実施に当たっては、三重県や周辺組織・団体の取り組みと地域やターゲットが重複しないよう、役割分担に努めました。

<掲載実績：直接掲載分>

	媒体名	掲載日	発行部数	地域
1	ぱるく伊勢志摩	27. 9. 20	80,000 部	三重
2	伊勢新聞	27. 10. 25	100,000	三重他
3	わおマップ	27. 11. 10	60,000	関東・中部・関西
4	旬刊旅行新聞	27. 11. 11	32,000	全国
5	中日新聞	28. 2. 25	約 248 万	中部

(2) 公共交通機関タイアップ誘客キャンペーンの推進

伊勢市への観光客の来客数第 3 位の地域である関東地域をメインに、第 1 位の東海地域からの誘導も含め、たくさん訪れている観光客をリピーター化させるため、また、公共交通機関の利用を促進するため、公共交通機関とタイアップした誘客キャンペーンを実施しました。

① J R 東海ポスターキャンペーン

東海旅客鉄道（株）とタイアップし、同社が広告掲出料を負担する代わりに、伊勢市が同社の情報枠を設けたポスター等を作成しました。ポスター等は駅等に掲出していただきました。

ポスターには外宮の古殿地の写真を使用し「伊勢にこんなところがあったのか」と注目してもらえる内容としました。

関東の主要駅である東京駅・品川駅では、たくさんのポスターやデジタルサイネージなどで効果的に掲出していただきました。

ポスター等は平成 27 年 9 月 17 日から掲出し、最も長く貼れる場所では平成 28 年 1 月末ま

で掲出していただきました。

委託先：（株）ジェイアール東海エージェンシー

委託金額：6,604,740 円

委託期間：平成 27 年 8 月 14 日～平成 28 年 1 月 29 日

②近鉄・名鉄ポスターキャンペーン

近畿日本鉄道（株）及び名古屋鉄道（株）とタイアップし、伊勢市と東海旅客鉄道（株）で作成したポスターデザインの情報枠を各鉄道会社の情報枠とし、各鉄道会社の負担で主要駅等へ掲出していただきました。近畿日本鉄道（株）は 9 月半ばから掲出していただき、最も長く貼れる場所では 12 月末まで掲出していただきました。また、名古屋鉄道（株）は、11 月の 1 か月間掲出していただきました。

③東武ポスターキャンペーン

東武鉄道（株）とタイアップし、平成 27 年 9 月 21 日から 10 月 11 日まで、伊勢市と東海旅客鉄道（株）で作成したポスターの情報枠に、東武トップツアーズの伊勢への旅行商品を掲載したポスターを池袋駅に連貼りし、伊勢の露出を図るとともに、伊勢の旅行商品販促キャンペーンとして、東武トラベル店舗でのポスター掲出及び伊勢の動画の放映等の販売促進活動、東武トップツアーズのWEBサイトからの誘導強化に取り組みました。

（3）デジタルメディアの活用

東京 23 区およびその周辺のタクシー車内に設置されたディスプレイ、県外（神奈川・岐阜・兵庫）の路線バス車内に設置されたディスプレイにおいても、伊勢の観光情報の発信を行い、伊勢への誘客を図りました。

また、伊勢市内を走るタクシーやバスの車内、また市内の観光施設などに液晶ディスプレイを設置し、イベント情報や観光情報などを放映し、観光客の利便性向上を図りました。

委託先：（株）ディプラス

委託金額：10,992,000 円

委託期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

（4）テレビ放送等を活用した情報発信

旅行者の伊勢に対する興味を喚起するため、テレビ放送での伊勢市の露出を確保し、伊勢の情報発信を行いました。

①RKB毎日放送（株）とのタイアップ情報発信

重点取組み遠隔地である九州地域へ伊勢市の情報を効果的に発信するため、RKB毎日放送（株）とタイアップし、博多どんたく港まつりの際のまつり中継に「伊勢市どんたく隊」として参加し、伊勢市のPRを北部九州地域へ放送しました。

また、平成 27 年 10 月 31 日に神宮徴古館がリニューアルオープンしたことを受け、女性の伊勢旅の番組を作成し、九州に向けて伊勢をPRしました。平成 27 年 11 月 1 日（日）今日感テレビ日曜版のメイン特集の中で、北部九州地域へ放送されました。

②福岡ヤフオク！ドーム及び東京ドームでのPRに付随するテレビ放送での情報発信

福岡ヤフオク！ドームでのPR展開では、東京MXで伊勢のCMを放送するとともに、PRの様子も含めた試合内容は、BS-TBSや兵庫県が放送対象地域であるSUNテレビなどで、中継されました。

また、東京ドームでのPR展開では、ラジオ日本やCSスポーツチャンネルである「日テレG+」の野球中継内でCMを放送しました。

(5) ホームページを活用した情報発信

(公社)伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行いました。

年度	アクセス数 (携帯電話含む)	稼働日数	一日平均
23	837,292	366	2,287.7
24	1,214,201	365	3,326.6
25	2,271,186	365	6,222.4
26	1,963,634	365	5,379.8
27	1,730,562	366	4,728.3

(6) 観光パンフレットの利活用による情報発信並びに誘客活動

来勢する前に読んでいただく総合観光パンフレット、PRイベント等で伊勢の概要を紹介する概要版観光パンフレット、来勢されてから使っていただく各種マップ及び外国語版のパンフレット類など、目的別に(公社)伊勢市観光協会と共同作成しました。また、観光展等での配布のほか、観光案内所での配布、各種集大会による来訪者への配布、広告事業と連動した媒体等を通じたパンフレット送付依頼対応及び旅行会社等での配布など、用途に応じて効果的に使い分けを行いました。

年度	パンフレット発送件数
23	966
24	1,988
25	1,171
26	830
27	1,780

※パンフレット送付について

電話・メール・FAX等で送付依頼があった場合に配布を行っています。また、雑誌等への広告掲載を80件行い、広告面の一部に「パンフレット無料送付」の案内を掲載しています。さらに、伊勢志摩サミット開催決定の効果から、前年度より大幅に発送件数が増加しました。

(7) PRキャラバン

地域に出向き、伊勢の観光情報パンフレットの配布や物産展とのコラボレーションにより観光PRを行いました。また、同時にアンケートによる市場調査も行い、地域の傾向及び認知度等を分析し、今後の観光施策の参考としました。

対象地域は、人口規模が大きく発信力のある首都圏、リピーター化が期待される大阪、重点遠隔地で注力をしている九州の3地域に設定しPRを行いました。

PRキャラバン実施状況

	実施日	開催場所	備考
1	27. 4. 4- 6	六本木ヒルズ（東京都港区）	神宮司庁・伊勢市共催
2	27. 5. 3- 4	博多どんたく（福岡市）	
3	27. 5. 18-19	あべのハルカス（大阪市阿倍野区）	神宮司庁・伊勢市共催
4	27. 6. 11	福岡ヤフオク！ドーム（福岡市）	
5	27. 8. 1- 2	わっしょい百万夏まつり（北九州市）	
6	27. 9. 25-27	ツーリズムエクスポジション 2015 （東京都江東区）	三重県・志摩市・国立公園指定 70 周年実行委員会・伊勢市共同出展
7	27. 9. 26	東京ドーム（東京都文京区）	
8	27. 10. 3	大神神社周辺（桜井市）	桜井市・出雲市・伊勢市共催
9	27. 10. 18-19	たまプラーザテラス（横浜市）	伊勢市観光協会主催
10	27. 10. 29-11. 4	日吉東急 avenue（横浜市）	伊勢市観光協会主催
11	27. 12. 12-13	伊勢・鳥羽・志摩 うまいもん列車 （大阪市天王寺区）	鳥羽市・志摩市・近鉄・伊勢市主催
12	28. 1. 26	三重県観光交流会（東京都中央区）	
13	28. 2. 20-21	伊勢志摩うまいもん横丁・伊勢志摩パールフェア（大阪市阿倍野区）	
14	28. 3. 6	三重もんづくし！うまいもん おもろいもん 祭（大阪市西区）	
15	28. 3. 12-13	お伊勢さん ええもんフェア（東京都町田市）	商工労政課主催

(8) フェイスブックページ運用事業

平成 24 年 7 月 20 日から開始した伊勢市の観光情報を発信する facebook ページについては、伊勢の観光情報、イベント情報などを主に発信しました。「いいね！」の数は約 2,000 となりました。

発信者と受け手との双方向のやりとりが可能な SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）での取り組みであり、気軽に読めてわかりやすい発信を心がけました。

(9) 特急バスへのラッピングによる誘客事業

国内外から伊勢市を訪れる観光客の利便性向上を図るために、中部国際空港セントレアと津市間を結ぶ高速船発着地である津なぎさまちからの直通特急バスを使った最短ルートの整備を、三重交通（株）が実施しました。その特急バスに、伊勢市を連想させるラッピングを施し、伊勢の告知と伊勢への集客及びアクセスバスの利用促進を図りました。

(10) 観光 PR 等で使用する法被の作成

県内外において実施する伊勢の観光 PR イベント等において、従事者が着用する法被を作成しました。

2 スポーツ誘客推進事業

伊勢フットボールヴィレッジを活用した誘客大会の実施等による利用者の確保及び施設の戦略的な情報発信を行いました。

委託期間：平成 27 年 2 月 16 日～平成 28 年 3 月 31 日

委託業者：（株）ジャパン・スポーツ・プロモーション

委託金額：4,320,000 円

大会開催実績

日程	カテゴリー	参加チーム数	宿泊数
27. 3. 23-26	男子ユース	8 チーム	461 人
27. 4. 1- 3	女子ユース	18	696
27. 8. 17-20	男子ユース	3	232
27. 8. 24-26	女子大学	7	97
27. 10. 10-12	ジュニア	24	116
28. 1. 10-12	女子ユース	5	66
28. 3. 22-24	男子ユース	12	402
合 計		77	2,070

なお、伊勢市制施行 10 周年記念イベントとして、平成 27 年 11 月 1 日に伊勢サッカーフェスティバルと共催で、解説者として活躍している松木安太郎氏によるトークショーを開催しました。

また、市内での各種スポーツ大会や合宿を誘致し、経済効果を高めるため市内宿泊者数に応じた補助金交付事業を実施しました。補助制度の周知を図るため PR チラシを大学生協に送付しました。

申請件数等の実績

開催年度	H26 年度	H27 年度
申請件数	102 件	104 件
補助金確定額	20,302 千円	20,283 千円
宿泊者数	22,086 人	22,843 人

3 広域連携事業

伊勢熊野観光連絡協議会、（公社）三重県観光連盟、（一財）伊勢志摩国立公園協会 伊勢志摩国立公園指定 70 周年事業実行委員会、伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会、（公社）日本観光振興協会、歴史街道推進協議会、風景街道「伊勢街道」連絡協議会、NPO 法人全国街道交流会議及び三重の観光営業拠点運営協議会等に参画し、事業展開を図りました。

また、三重県や玉城町が中心となった熊野古道伊勢路魅力発信事業に参画したり、三重県観光キャンペーンの伊勢志摩地域部会に参画するなど、三重県及び県内広域で連携した伊勢の情報発信も行いました。

4 ターゲティング戦略推進事業

伊勢への誘客の一環として、伊勢の着地型旅行商品の磨き上げ（ブラッシュアップ）及び販促、旅行会社向け資料の作成を行い、東海、関西、関東を中心に、北海道、中国・四国、九州など全国の旅行会社への企画提案と流通促進を行ってきました。

既存の旅行商品の磨き上げを図りつつ、新たな取組として、コンビニ端末を活用した着地型旅行商品の販売を9月から開始するなど、販路の拡大も行い、伊勢への来訪客増加を目指しました。

5 伊勢志摩広域観光活性化事業

(1) (公社)伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客による活性化のため、(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構(平成6年3月設立、平成14年11月名称変更、平成18年4月社団法人化、平成24年4月公益社団法人化)に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業及びフィルムコミッション事業等を展開しています。

(2) 伊勢志摩キャンペーン事業

平成17年度から実施してきた「伊勢志摩キャンペーン」(平成25年度のみ「せんぐう旅博」として拡大実施)を、平成27年度も継続して実施しました。

平成27年10月1日から平成28年3月31日まで、三重県、伊勢志摩地域各団体及び近畿日本鉄道(株)などと協働で、東京・大阪・名古屋地域を重点対象地域に設定し、キャンペーンを展開しました。コンセプトブック、チラシ及びポスター等の誘客ツールを作成し近鉄沿線や旅行会社等へ配布し、各種媒体での情報発信や、旅行会社とのタイアップによる誘客を行いました。

(3) 伊勢志摩学生団体誘致事業

伊勢志摩地域の行政、民間施設等と共同で学生団体旅行の誘致活動を行いました。

学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩においさないさあ」の改訂増刷、体験メニュー動画の作成、ホームページを活用した情報発信、教育旅行エージェントへのセールス、学校訪問及び誘致セミナー、現地視察招へい及び関係機関との情報交換などを実施しました。

平成27年度は、7月に首都圏(世田谷区、川崎市)の公立中学校訪問セールスを、また12月には関西圏(尼崎市、東大阪市)の公立小学校訪問セールスを実施しました。

6 外国人観光客誘致推進事業

経済成長力と来日規模から注目される中国・アジアとともに、ヨーロッパ諸国などからの誘客も視野に入れ、他地域と連携しつつ、市単独でも誘客に取り組みました。

(1) 他地域連携事業

東海地区外国人観光客誘致促進協議会、三重県外国人観光客誘致促進協議会及び伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会等へ参画しました。

三重県外国人観光客誘致促進協議会では、台湾ITF(国際旅行博)に参加し、伊勢市のPRに努めました。

平成 28 年 3 月には、台湾に新しくオープンした「三井アウトレットパーク台湾林口」で、三重県が主催する「三重県フェア」に参加し、志摩市と合同で観光 P R を行い、台湾からの誘客に努めました。

また、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会では、観光庁の実施する訪日旅行促進事業「ビジット・ジャパン事業」に参画し、台湾・香港・韓国等からの誘客にかかる旅行商品の造成等を協働で実施しました。

(2) 市単独事業

①ミラノ博伊勢市 P R 事業

伊勢商工会議所と協力し、ヨーロッパ有数の国際観光都市であるミラノにて開催された『ミラノ国際博覧会』の会場及びテストマーケティング会場で、平成 27 年 7 月 1 日から実施された三重県ウィークにおいて、伊勢市及び全国菓子大博覧会の P R を行いました。

②外国人短期留学生招へい及び情報発信事業

平成 28 年 2 月 22 日（月）～ 3 月 11 日（金）までの 3 週間、皇學館大学と協働実施しました。

日本・伊勢の歴史文化に興味を持つ欧米圏の学生に、皇學館大学の留学生として、伊勢の地で伊勢について学んでいただきました。また、参加留学生には滞在中 SNS を活用し、毎日母国へ伊勢を発信してもらいました。帰国後も SNS 等を通じて情報発信に努めていただきました。

③ゴールデンルートからの誘導マップ作成事業

（公社）伊勢市観光協会と協働で、ゴールデンルートの中でも京都・大阪に長期滞在する外国人個人旅行者に向け、伊勢市への日帰り旅行を誘導するマップを作成しました。作成後は三重県関西事務所等と連携し、関西ツーリストインフォメーションセンター（関西国際空港・心齋橋・京都）や阪急ツーリストセンター大阪梅田など、19 か所の外国人観光案内所に効果的にマップを設置しました。

④外客誘客調査事業

（公社）伊勢市観光協会と協働で、世界中に散らばる日系人をターゲットとし、「自分のルーツ」「こころのふるさと」を全面に押し出した情報発信を図ることを目的に、まずは、三重県に来訪者の多い北米を中心に情報収集を図りました。

⑤イギリスにおける伊勢神宮に関する展示会及び伊勢市の P R 事業

平成 26 年度にイギリスのケント大学において、皇學館大学が「神都・伊勢の歴史と文化」シンポジウムを開催するのに合わせて、伊勢市が観光 P R を行ったことをきっかけに始動しました。

外務省が平成 29 年度イギリスに設立する予定のジャパンハウスで日本文化を発信する際に、「神社」という文化的な切り口での情報発信に参画することにより、伊勢市を P R できないか模索しました。皇學館大学・神社本庁・神宮司庁・観光庁・J N T O、外務省等関係

機関と調整し、平成 29 年度へのステップとして平成 28 年度にイギリス・ロンドン市内で伊勢市の情報発信事業を行うため、皇學館大学と神社本庁、伊勢市で、平成 28 年 1 月 25 日（月）～1 月 28 日（木）、ロンドン大学東洋アフリカ研究学院や在英国日本国大使館等にて現地調整を行いました。

○ 地域消費喚起・生活支援事業

1 伊勢お得旅事業

国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型）」事業として伊勢お得旅商品券を発行し、伊勢市を訪れる市外からの旅行者の、みやげ物等の購入を支援する事業を実施しました。プレミアム率 40%の商品券は 500 円券 4 枚を 1 セットとして 26,250 セットを販売しました。9 月末で商品券は完売し 12 月末まで利用されました。商品券の利用状況は 105,000 枚中 104,047 枚使用され、99.1%と高い利用率となりました。

委託先：（株）リクルートライフスタイル

委託金額：7,990,650 円

プレミアム分負担金：20,809,400 円

委託期間：平成 27 年 4 月 15 日～平成 28 年 2 月 29 日

○ 地方創生総合戦略推進事業

1 観光情報発信事業

（1）広告宣伝による誘客活動

国の交付金事業を活用し、新聞や雑誌等へ広告記事を掲載し情報発信を行いました。

PR キャラバンや広告掲出等、これまでの実績を基にターゲットを絞り、リピータの確保を目的とした、伊勢への所要時間が 4 時間圏内の地域、および首都圏や九州などの主要な遠隔地で発行されている広告媒体を選定し掲載しました。

	媒体名	発行	備考
1	関西ファミリーウォーカー夏号	6/15	関西
2	大阪本	6/16	関西
3	家族でGOGOドライブ本	6/26	関西
4	旅の手帖	6/10	全国
5	夏休みファミリーレジャーガイド	7/18	東海
6	女子旅行（散歩の達人MOOK）	9/11	全国
7	Cheek	6/23	東海
8	体験ぴあ	8/10	東海
9	豊田岡崎食本	8/20	東海
10	秋ぴあ	9/20	東海
11	ぴあ×starcat	8/1	東海
12	究極のカレー	8/10	関西
13	京橋食本	9/10	関西
14	北九州食本	10/20	関西
15	秋ぴあ	9/20	関西
16	絶景ドライブぴあ	10/20	関西
17	東海版ファミリーウォーカー	6/15	東海
18	Kelly	6/23	東海
19	DolceVita	11/5	東海
20	poroco	6/20	札幌
21	womo【静岡版】	6/25	静岡
22	ウォーキングを楽しむ本	6/30	関西
23	あまから手帖	7/23	関西
24	絶景鉄道の旅	6/26	全国
25	青春18きっぷの旅	7/13	関西
26	文字の大きな時刻表	7/18	全国
27	JR時刻表	8/25	全国
28	大阪立飲みごはん	7/9	関西
29	究極の食べ放題関西版	7/16	関西
30	womo【浜松版】	6/25	浜松
31	Komachi	7/25	奈良
32	naranto	8/1	奈良
33	関西秋Walker	8/11	関西
34	Pococe	7/25	都内
35	旬刊旅行新聞	7/11	全国
36	福岡Walker	8/20	福岡
37	J-com 関西チャンネルガイド	9/1	関西
38	神戸Woman	8/10	神戸
39	聖教新聞 中部版	7/12	東海
40	信濃毎日新聞	7/23	長野

	媒体名	発行	備考
41	散歩の達人	8/21	全国
42	Vien	8/25	群馬
43	カジカジ	9/10	関西
44	girl's style	9/1	関西
45	FLYING POSTMAN	8/20	愛知
46	L'alaパド	10/6	都内
47	月刊スターキャット	9/25	名古屋
48	けーぶるちゃん	9/24	福井
49	iTSCOM magazine	9/30	関東
50	ジェイコムマガジン武蔵野三鷹版	9/30	東京
51	Watto!!	8/23	関西
52	tomato	9/1	広島
53	CHIC	9/15	広島
54	まるごとく〜ぽん	9/1	関西
55	Cheek	8/23	東海
56	シニア Navi（岡山）秋号	9/15	岡山
57	関西ウォーカー	9/29	関西
58	タウンジャーナル群馬版	9/20	群馬
59	サンデー福岡（早良区他）	9/26	福岡市
60	サンデー福岡（博多区他）	9/26	福岡市
61	face すぐろく	10/10	長崎
62	関西冬 Walker	10/16	関西
63	ファミリーWalker 冬号	11/14	関西
64	関西 Walker	12/8	関西
65	関西 Walker	1/5	関西
66	関西春 Walker	2/8	関西
67	福岡 Walker 増刊号	12/15	福岡
68	福岡 Walker	11/20	福岡
69	womo【静岡版】	10/22	静岡
70	womo【浜松版】	10/23	浜松
71	散歩の達人	10/21	全国
72	大人の泊りがけ	10/29	関西
73	散歩の達人	11/21	全国
74	poroco	12/19	札幌
75	womo【静岡版】	12/17	静岡
76	womo【浜松版】	12/17	浜松
77	信濃毎日新聞	1/1 1/3	長野
78	散歩の達人	2/20	全国
79	tomato	3/1	広島
80	関西 Walker	3/8	関西

委託先：（株）アド近鉄伊勢支店

委託金額：14,904,000円

委託期間：平成27年5月14日～平成28年3月18日

(2) バス車体広告

遷宮後は来訪者数の減少が予測されることから、リピーターの確保が期待できる近隣府県に向け、路線バス等への広告を掲載し、伊勢への誘客を図りました。

平成 27 年度広告掲載状況

都道府県	バス会社	主な運行エリア	掲載台数	掲出期間
京都府	京都市交通局	京都市内	3 台	12 か月
滋賀県	近江鉄道バス	大津市内ほか	3	12
岡山県	岡山電気軌道	岡山市内	1	12
長野県	長野電鉄バス	長野市内	4	12
兵庫県	神姫バス	神戸市内	8	12
岐阜県	岐阜バス	岐阜市内	7	12
静岡県	静鉄バス	静岡市内、清水市内	1	12
	遠鉄バス	浜松市内	8	12
愛知県	名古屋市営バス	名古屋市内	9	11
大阪府	大阪市営バス	大阪市内	3	11
	近鉄バス	大阪市内ほか	2	11

委託先：三重交通（株）

委託金額：5,931,360 円

委託期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

(3) 長距離バスを活用した誘客宣伝事業

首都圏からの直通長距離バスを活用した伊勢の PR を行うことにより、伊勢の注目度を高め、若年層の女性を主とした誘客を図りました。具体的には、①バス会社が持つウェブ上の PR ツール（メールマガジン・フェイスブック・ツイッター・公式サイト等）を活用した伊勢の観光情報発信、②バス車内に設置されている車内誌への伊勢の観光情報の掲載や首都圏のバスターミナルへのポスター掲示、③伊勢市と首都圏を結ぶ高速バスを運行するバス会社 2 社の利用者に対して、運賃の一部を助成することによる伊勢への誘客の促進、などを行い伊勢の PR を行いました。

また、外国人に向けた誘客についてもウェブ上での観光情報発信を中心に伊勢の PR を行いました。

委託先：WILLER ツーリズム&コンサルティング（株）

委託金額：19,049,040 円

委託期間：平成 27 年 10 月 26 日～平成 28 年 3 月 25 日